

資料 5

子育てしやすいまちに関するアンケート調査結果

目 次

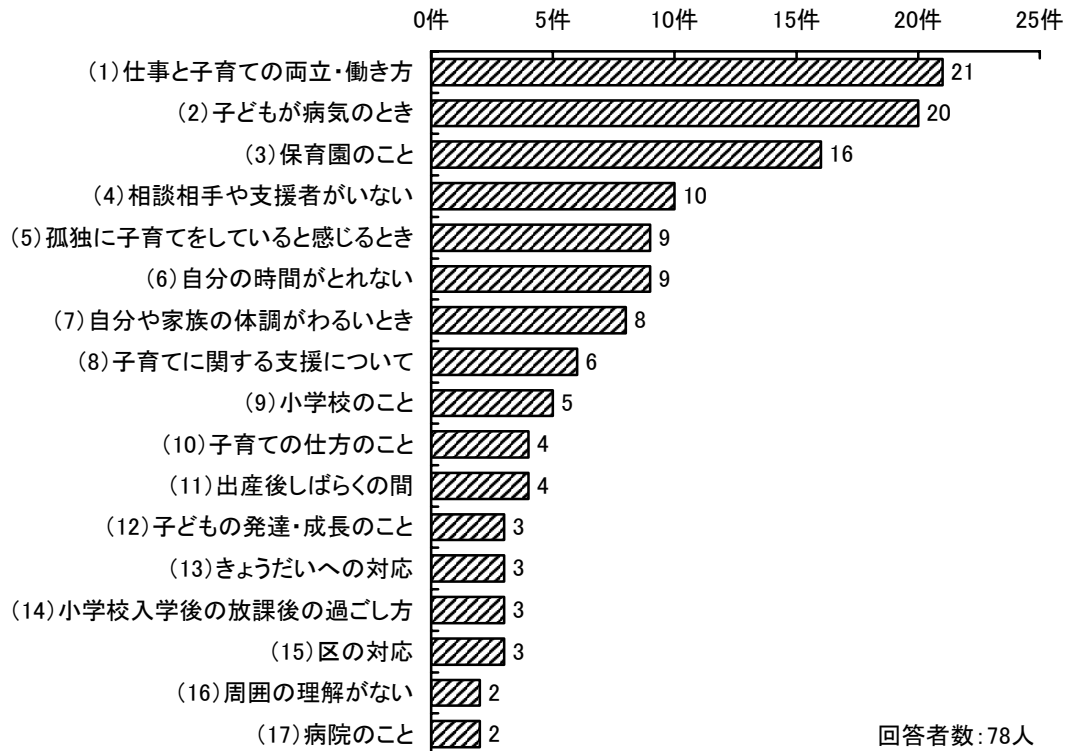
1. 調査の実施概要.....	89
2. 回答結果①	90
3. 回答結果②	107

1. 調査の実施概要

調査目的	保育ビジョンの策定にあたり、乳幼児を育てている保護者の子育ての状況、子どもの育ちや子育てしやすくするために必要としている支援等について把握する。	
調査方法	①文京区認可保育園父母の会連絡会が、加盟する父母の会メンバーに対して実施。	②第2グループのメンバー経由(家庭で子育て中の主婦が主)での配布並びに緊急一時保育実施保育所(区立保育園3か所)利用者・ぴよぴよひろば(シビックセンター3階)利用者・病後児保育施設、小児科医院(区内医院1か所)利用者に対して、アンケート用紙を配布・郵送回収。
実施期間	平成18年10月	平成18年11月6日～ 平成19年1月19日
回答者数	78人	49人

2. 回答結果①

1. 子育てが大変(大変そう)、つらい(つらそう)と思った(思う)のはどういう時？



(1) 仕事と子育ての両立・働き方 (21 件)

- 仕事との両立。核家族で夫婦とも民間企業勤めです。会社では当然会社への貢献を求められ、私が子育てしていることがハンデだとされています。でも産みっ放しでは子どもを産んだ意味がないし、子育てをしていることで得られる能力もあるはず。そしてこの先日本を担う世代をきちんと育てたい。こういう話はなかなか企業には理解されないんですね。
- 友人で、出産したばかりで本当は1年間の育児休暇をとりたいのだけれど、1年たつと保育園に入れないからと、3ヶ月、4ヶ月で職場復帰したいへんな思いをしているのをみると、この国の保育行政はどこか間違っていると感じます。
- とても不規則な仕事の為、保育園だけでは対応出来ない。実家も近くでは無く、いざ!という時(子どもの病気、けが...)は仕事をキャンセルするしかなく、信用ががた落ち。仕事が出来ない→収入が激減。三人子育ては辛いです。
- 仕事と子育ての両立。兄、妹が別々の保育園なので余計に大変と感じる。
- 保育園、小学校、自分の職場と行事が重なりやりくりが大変なこと。
- 子どもが病気しやすく、仕事を休みがちになり、結局パートにした。
- 子どもを産み育てる際直面する問題は、産休をとる際、働いているので代替職員がアルバイトになってしまうことや、職場の方々の事務分担が増えてしまうことです。
- 子どもができた喜びとともに、「いつ会社に伝えたらいいか」「どうやって職場復帰の道筋をつけたらいいのか」非常に悩みました。私たちには、夫婦2人で子育てをしていく他はなく(身内のヘルプはありません)、その時勤めていた会社は、子どもを生んだ後も会社に所属し続けるケースは私が初めてでした。妊娠したことを告げると同時に、どうやって職場復帰するつもりか、できる限り影響がないように調べたことそのままを上司に伝え、自信があるように振る舞っていましたが、内心は不安でいっぱいでした。当時は、身近なところに子どもを持ちながら働き続ける人もいませんでしたので。その後、出産月の関係で保育園に入園することができず、保育ママさんをお願いすることになりましたが、生後4カ月で職場復帰するのが精一杯の休暇期間でした。職場に復帰してからは、子

どもが熱を出したら私が仕事を休む以外にない状況の中で、結果として、同じ会社に居続けることはできませんでした。職場が零細企業で私のような社員を抱え続ける余裕がないという理由と、私自身も、無理して会社員生活を続けることができなかつたためです(2人目を生んだとき「あと何人生むつもり？」と真顔で同僚に聞かれたのも、ちょっとしんどかった)。フリーとなって仕事を始めたとき、上司に「子どもが熱を出しまして…」と言わなくていいだけで、こんなにラクなんだ！とこれまで、有形無形に感じていたプレッシャーの大きさに改めて思いが至りました。子どもを持ち、育てることの幸せは、人生の中で初めて感じたかけがえのない喜びです。こんなふうな幸せがあるというのは、子どもがいないときには想像もつかず、子どもを持つ人を見ても、「たいへんそう」とは思っても、「幸せそう」と思ったことはありませんでした。しかし同時に、「もっと時間を気にせず仕事をしたい！もっと思いっきり仕事をしたい！」という思いがふつふつと湧いてきて、夫にぶつけてしまうこともあります。子どもを持ちながら仕事をするのは、仕事の世界ではマイナスが多いです。仕事先の人に「お母さんは家にいるのが一番」と言われ、「それなら私に仕事を依頼するのはどうなんだ？」と怒りに襲われたこともありますし、子どもがいることをなるべく話さないようにした時期もありました。でも、常に現実がこちらの意図を裏切るというか、どうしてもはずせない仕事の日に子どもが熱を出し、キャンセルしなければならなくなったり、夜や土日の急な電話で子どもがいることが分かかってしまったりして、「隠す」のはやめることにしました。子どもがいないが仕事を続けることが、介護が必要な人を抱えて仕事をするのが、当たり前前の社会になり、身近にもっと増えてくるようになればいいと思っています。そして、どこへでも子どもを連れていけるようになれば、もっといいのになあ、と。

- 仕事が終わらないのに、お迎えのために途中で打ち切り会社を出る。もちろんPCを持ち帰り、子どもが寝静まってから仕事を再開する。自分の仕事の仕上がりを待っている人がいるとき、非常に辛い。子育てが辛いというより、人生全体に無理があるなと感じることが多い。
- 家事育児負担(終日勤務に加え、平日は家事・育児の全てを独りで負担しなくてはならない)。
- サービス業の為、急遽夜や休日、店に子ども達を連れて行き、仕事をしなければならない時は、親子共々つらいです。3人まとめて預けるのは難しく、1人欠けても泣いてしまう子ども達の気持ちを考えると、それも出来ません。
- 一人目の出産のときには、産後も同じように共働き(会社員・常勤)が続けられるかが不安だった。保育園に入園するにも、誕生月によって空きが無く、4月の募集までどうしたらいいのか悩んだことも。我が家の場合は、入園できるまでの数ヶ月、実家の手助けでなんとかかなりましたが、母親にとって、子育てと仕事の両立は厳しい問題。
- 責任ある立場で勤めていた職場に、育休を3ヶ月早く切り上げて戻ったときは、6時まで働けないから正社員ではいられないと言われ、15分早く帰るために泣く泣くパートになりました。産休、育休を認めてこれ以上一人だけわがままを言うのならいてくれなくてもいいと言われました。
- 産休、育休がうまく取れるかが最初の心配事でした。子育てと仕事の両立が本当に出来るのか？3歳になるくらいまではよく病気になり、仕事を休みづらく大変でした。
- 母親の家事と仕事との両立。
- 職場復帰が大変だった。
- 働いていると時間に余裕がなく、人間として未熟なため子どもに対して普段よりしかってしまう気がします。本音はある程度のお金時間に余裕がありだといいなと思います。
- 仕事を思いっきりしたいのに保育園が長時間預かってくれない。出産がキャリアアップを阻む。
- 職場復帰後1年くらいは子どもも体調を崩すことが多く、育児と仕事の両立の難しさに悩みました。
- 母親の就職。産休や育休をもらえない人は実質家計はマイナスになります。
- 仕事の面で、子どもがいなかったり独身者は無駄に残業もできるし出世する。子どもがいると時間や仕事内容を制限されてしまい出世できず給料も増えない。子どもが多く金銭的に必要な家庭は給料が低い上に、税金や医療をはじめとした制度等も悪い状況。親の気持ちの余裕もない家庭やこんな世の中で、子どもたちが善良に育つとは思えない。

(2) 子どもが病気の時(20件)

- 病気の時はいまに困る。今は母親が非常勤だからまだいいが、両親が交代で休むしかないのが限界がある。
- うちの家庭は母子家庭なので、病気になった時に近隣に身内がないので大変です。
- こどもの病気が一番心配。病気の時にかかる小児科の選択。病気の際の保育など。
- 仕事をしていますが、子どもの急な病気の時がこまります。
- 子どもが病気の時。看病、通院も大変だが、仕事を休まなければならないのが困る。長いときは1週間位休まなければならない大変である。
- 子どもが病気で保育園に預けられない時に仕事を休まなければならないこと。祖父母が近くにいないので頼める人がいない。

- 保育園に行くようになって、病気で急に休むことになるとうれしいです。それが立て続けに二人だとどうしていいか……。病後児保育の方は遠くて連れていくのもどうかと思ってしまいます。
- 子どもの病気の時、初めての際には病状の軽さ、重さが分からずに医者へ急いだり、そして医者へ叱られたり、待たされたり、そして、発熱の際には元気でも保育園には預けられないので、仕事場に迷惑をかけたりして、周りに援助がないと非常に辛い。
- 子どもが小さいうちは、子どもの具合が悪い時でも仕事を簡単に休むことができず、子どもに無理をさせることもあり、それが一番辛いと思っていましたが、大きくなるにつれ、子どもの様子を十分、把握出来ていないのではないかと、不安に思うことがしばしば。
- 一歳児から保育園に通っています。二歳までは実家から離れていたため具合が悪くて保育園に行けなくても他に預けることが出来ず、仕事を休むしかありませんでした。
- 子どもが小さいうちは、子どもが病気になった際、休まねばならない職場への遠慮で、つらかった。預ける人がおらず、下の子が病気のために、上の子も毎日病院に連れて行かざるを得なかったのはつらかった。
- 子どもが病気になった時に長時間預けられるところがない。
- 子どもの具合が悪いときに、休暇がとりづらかったり預ける場所がない。あっても利用しづらい条件がある。
- 実家の援助を望めない状況ですので、子どもが病気の時は父母どちらかが仕事を休まねばならず、病気が長引くときはとても大変です。休日出勤をして仕事をカバーしなければならない時もあります。
- 子どもが病気になった際、近隣に祖父母がいない、ベビーシッターも突然は手配できないので、子どもの面倒を見てもらう人がいない。しかし、会社は代わりの人のいない締め切りのある仕事をしているため、突然は休めない。
- 身近に祖父母などがいないので、子どもが病気になった時仕事を休まざるをえずやりくりが大変です。2番目の子の産後も上の子の育児・家事など大変でした。
- どちらかが体調を崩したとき。
- 基本的にはそんなに大変・つらいと思っただけではありませんが、働いているため、仕事の多忙と子どもの病気が重なってしまうと、にっちもさっちもいなくなってしまう、大変だと思うことはあります。大変・つらいとあまり思っただけがないのは、子育てを共感・相談できる仲間や信頼できる親族が身近にいてくれるからだと思います。
- 最近大変なのは仕事が忙しい時に娘の具合が悪くなり、自分も体調を崩した時など。
- 我が家は子どもが多いので（3人＋来春誕生予定）、やはり一番は子どもの誰かもしくは親が病気などの時に困ります。うちは両家の祖父母が近所なので、何とかやっていますが、そうでない方はなお大変なのでは。

(3) 保育園のこと(16件)

- 産休後、職場復帰するにあたって保育園入園が難しかった。
- 復職に際して、保育園探しが大変。
- 職場復帰を前に保育園に入れられない可能性があると思った時（通勤ルートを変えることも考え民間保育園も探したが、確保はできなかった。結局第3希望の公立保育園に滑り込めたのでほっとしたが）。
- 希望の保育園に入園できるか？
- 近所の保育園の空きがなく、遠くの保育園に通園しています。転園の希望を出していますが、転園先はパンク状態で、当然転園できる見込みがありません。待機児童がいる中、賢訳は言えませんが、入園希望の状況を見て保育園の収容人数を増やすなどの対応をしていただきたいと思います。
- 引越して保育園を転園の必要があるのに、転園できないこと。
- 出産後保育園に入れるかどうか確定しなかったこと。入園前に保育課の職員が朝9時30分に、独立したてで収入がほとんどなかった自営業の夫が本当に働いているのかどうか査察にきたときには、ここまでプライバシーを侵害され、疑われないと入園できないのかとたいへん不快だった。なぜ社会の子ども全員について、保護者が望めば保育園に入れる状況が作れないのかと思う。二人目についても、優先されると聞いてはいるものの、タイミングよく保育園に入れるかどうかかわからず、ためらっている。
- 区内保育園に入園できない（新規就職で点数が低かったせいもあり地元の区立保育園には入園できず、現在も他区の私立園に通わせている）。
- 最近気になるのが、兄弟姉妹が同じ保育園に通えないケースが増えていることです。保育とはチャイルドケア、つまり子どものケアであるわけで、その質は、保育所の中だけでなく家庭にもつながります。兄弟姉妹が異なる保育所に通う、家庭と子どもへの負担。これだけで、保育の質は劇的に下がるといってもいいのではないのでしょうか。
- 安心して子どもを預けることができる環境が少ない。地域によって、0歳児を受け入れる保育園が少ないので、仕

方がなく兄弟が別々となる家庭がある。毎日の送り迎え、行事が2倍になったり、重なったり、それもさることながら、何かあった場合、例えば災害など。避難場所がそれぞれ違うので、非常に不安になる。預ける場所がないことで、子どもを産み育てるのに躊躇することもあると思う。保育園だけでなく、その後の環境についても同様。本当に「子どもの立場に立って」行政が行われているのか、疑問が多い。

- ちょうど、子どもが3歳組の時、千葉から引っ越してきた。時期的にも夏の7月で待機児童とならざるを得なかった。とにかく託児所をということで、東京都認可保育所（完全に民間委託）に預けて仕事を続けたものの、毎月7万5千円の保育料はきつかったこと、また、この保育料を文京区にも相談したが、区は黙認していることにびっくりした。保育所での写真代も1枚130円と聞いてまたまたびっくりした記憶がある。
- 延長保育の時間。会社は6時まででしかも仕事柄、突然の残業もあり。定時で帰れるかどうか分からない。何とか仕事をやりくりし、急いで帰っても延長時間ぎりぎりである。保育園の数が足りない。4月に入園するために、法律的には1年保障されている育児休暇を削ってでも職場復帰するしかなかった。以上の理由から、ベビーシッターさんがいないと我が家は成り立たない。
- 仕事を休みたいわけではないのに仕事を休む法律ばかり充実している。その割には大学院に行きたいと思っても保育園では預かってくれないと区役所で言われた。
- 子育ては楽しいです。大変なのは、保育園民営化（又はコスト削減）対応。それから、ハコモノ行政ありきの小中学校の統廃合問題対応。
- 今は、保育園の耐震工事で明化小学校まで送迎しているので体力的にも時間的にも、また雨の日はタクシーなので金銭的にもかなり厳しい！！2月まで続くかと思うとゾッとする。
- 保育園で子どもが担任の先生と信頼関係が結ばず、子どもの気持ちが心配で仕事に手がつかないとき、非常につらいと思った。安心して預けられる保育園であってほしい。他の兄弟に比べて怪我の多い子は、遠足や行事のたびになんとなく不安。安全を確保できる保育園であってほしい。子ども自身が怪我の多い子なのか、10年前に比べて保育者の減少で子どもを見ていられなくなり、結果的に怪我が増えているのか分からないが、親としては原因に関係なく、とにかく不安。

(4) 相談相手や支援者がいない(10件)

- 周りに子育てのことを気軽に相談できる人がいなかったとき。同じくらいの子どものいる人と情報を共有できる機会が少なかったとき（地元ではないので近所に知り合いもあまりいなかった）。実家も遠く、家族も仕事が忙しかったりで、日常的に子育てと一緒に関わってくれる人がいないとき。
- 協力者がいないこと。
- 急な残業や子どもの病気のとくに子どもを見てくれる人がいないこと。
- 休職中、子育てを相談する人がいなかった。
- 突発的な事情で子どもを安心して預けられる場所や人がいなかった。
- 実家が夫婦共に県外（共に祖母は他界）なので、子どもが病気の時や仕事等で帰りが急に遅くなる時に気軽に安心して子どもの世話を代わってもらえる人がいないこと。
- もうすぐ4歳になりますが、1歳になるまでが一番長く感じました。1歳過ぎて、保育園に預けるようになってからは、子育てについていつでも相談でき、自分の生活のバランスも取れてきたのですが、1歳までは預けることもできず、近所に同じくらいのお子さんが集まる場もなく、子育てを苦痛に感じることもありました。
- 産後、ちょっとした気晴らしをしたいときにどうしていいのかわからなかった（夫が多忙でみてもらえない）。そのときにファミリーサポートを知った。
- 今回が初めてのお産でした。実家の母はすでに他界していたので、何も解らないときに主人側の義母にかなり協力してもらって助かっています（いろいろアドバイスも貰えて）。実家が遠かったり、周りの援助が受けられないときは、子育ても楽しいと思うよりも、辛い・心配と不安要素が多くなると思います。例えば、子どもの原因不明の高熱とか、夜泣き、成長過程での遅れなど、いろいろな悩みは尽きないと思います。
- どうしても母親の負担が多い。社会全体が忙しすぎ。世の中の父親がもっと早く家に帰って、育児に参加できれば、母親も子どもももっとゆとりができてよいと思う。育児に参加したい父親もいるのに、それができない社会環境。法的に整備しても、それが実行できなければ、何も意味がない。

(5) 孤独に子育てをしていると感じるとき(9件)

- 一人で育てていると感じた時に辛いと感じます。子どもを生み育てるということは真っ先に、イコール生活なんですよね。夫婦であれば夫の家事育児の手伝いや祖父母の助言などがあると精神面や労力共に負担が軽減されます。いろんな人にかかわってもらい助けてもらえるとそれは子どもの育ちにも関係があることだと思います。みんなで

子育てができるという環境作りを。

- 孤立してしまうこと。
- 子育てが大変だと思うのは、子どもとずっと二人っきりで過ごす日中（密室育児）や、家事と育児の両立です。またそれを支えてくれる周囲の方々の協力が不可欠なことだと思います。物理的、体力的な協力のほかに精神的支えが一番不可欠です。子どもを産んで初めて「人は一人で生きてきたわけじゃない。」「自分の子どもは自分たちだけで育てているわけではなく、親も子も周囲の人々に支えられて日々生活を送ることができている。」と感じました。私達は協力し合って、皆、お互い様で、助けたり助けられたりしながら生きているということを強く実感しました。
- もう昔のことだが、赤ちゃんのときは社会と謝絶されるので、兄弟やインターネット、肉親の存在は不可欠だった。友人といっても一人目の場合はなかなかできなかったため、今思えば地域の赤ちゃん交流の場などにもう少し行ってもよかったと思う。
- 子ども（特に第1子）と1対1になったとき、泣き止まなかったり、ミルクをもどしたりすると、暗い気分になりました。こういうことが積み重なると虐待になっていくんだらうな、と実感しました。幸い、夫の協力や保育園に入園したりと、多くの手で育児をすることができ、泣いているのもかわいいと思えるようになりましたが、密室育児はとつてもあぶないと思います。
- 孤独な育児（夫は仕事で終日不在、休日出勤も多い、両親も遠方で、自分から仲間を求めて外出しない限り誰とも話す機会がなかった）。
- 子どもが0歳で育休中だったときは、普段の子育ては1人きりなのでとても孤独に感じました。子育て支援サービスなど、あったのかも知れないのですが、よく分かりませんでした。自然に子育て中の人や子育て経験者と話をできるきっかけを作ることができる場があればよいと感じました。子どもが歩くようになってからは、家の中にいるのは大変で、しばしば外に連れ出さなければなりません。やんちゃな男の子なので、なおさらです。でも近くにいくつか公園があっても、ゴミや吸い殻が散乱し、犬の糞が落ちていて、乳幼児は遊んでいません。もっと清潔で美しい公園があれば、安心して、自由に遊ばせられるのに、「これは汚い」「これは触っちゃだめ」と注意してばかりになってしまいます。公園以外の場所では車に気遣って「危ない」といつも気を配って注意しなければいけないので、本当に疲れます。
- 出産後まだ子どもが小さく、外出も出来ず我が子と二人きりで家にいた間、話し相手もいなかったため（ちなみに旦那は仕事が忙しくまったく頼りにならずでした・・・）。社会からとても孤立した状態で辛かったです。
- 子育てで、ものも言えない、泣きっぱなしの子どもと二人きりになるのが予想以上につらかった。

(6) 自分の時間がとれない(9件)

- 自分の時間が取れないこと。
- 少しも自分の時間がもてない。
- 仕事のようにきまった休みがなく、疲れていても子どもの世話はしなくてはならず、ゆっくり休みたいと思うとき。
- 自分の時間がないこと。外出をしてもゆっくりすることができない。
- どこへ行くにも子連れ（日々の買い物も大変、自由な時間はゼロ、美容院にも行けなかった）。
- 一人目のときは何もわからず、泣き止まないはどうして！とこちらも泣きたくなったりしていました。あとは自分の時間をとれないこと。美容院に行く時間すらなかなかとれず辛かったです。
- 親自身の時間が持てないこと。父親の帰りが遅いときはすべて自分でしなければならぬので、夜自宅で仕事ができないこと。自分の心にゆとりがもてないと、子どもにも厳しくなってしまうこと。
- 夜帰宅してから食事の用意をして食べさせて、お風呂に入れて寝かせるまでがとても慌ただしい。子どもの睡眠時間と家族でくつろぐ時間の確保が難しく、ついせかしてばかりいる。自分の時間が全く取れないのがつらい。
- 自分の人生が子ども主体になり自己否定をしたとき。

(7) 自分や家族の体調がわるいとき(8件)

- 一番大変だったのは、子どもが2歳の時、私の流産、直後に子どもの入院が重なって、凄く参りました。流産で入院中は祖父母の助けを借り、子どもの入院では流産間もない身体で付き添い入院。病院の方針で父親の付き添いは認められず、私の負担感が子どもにも良くなかったと思います。
- 家族の入院時（病院は基本的に子どもの入室を禁止しているため連れて行けず苦労した）。
- 体調が悪いとき（自分が）、子どもの相手をしてくれる人がいなかったとき。現在は保育園にお願いできて助かっています。
- 自分の体調が悪いとき。

- 親が病院へ行くのも子連れでは大変だと思いました。
- 自分が病気の時。
- 自分が病気になったとき。
- 正直な気持ちとして、毎日がつらい。子どもがいなければこんなに苦しい思いをしなくてすむのと思う。例えば、親が何日も高熱が続いて、もしかしたら入院かもしれないといった場面で、その週の土曜日一日だけ預かってもらえないかと保育園にお願いしたら断られた。子どもがいる限り熱なんか出すなと言われたようだった。

(8) 子育てに関する支援について(6件)

- 夕方～夜に、大学関係の仕事が重なる時・出張の時、身近に頼れるヘルパーさんがいないことや、大学で提供されている保育サービスがそういったニーズに全くかなっていないこと。たとえ、人に頼むことが可能であったとしても、連れまわされる子のストレスや負担を考えると、本当に難しいです。
- 平日夜に用事がある際、旦那、実家以外で預けるにはハードルが高い。一時保育にいきなり、は知らない先生だらけで、きつとつらだろう。いつもの保育園の先生に見てもらえるのは安心だが…。保育園主催の保育を語る会などで、いつもの先生が見ていてくれるのはとてもありがたい。
- 子どもは二人とも7月生まれ。自営業なので育児休暇はなく、9月には仕事の一部、復帰しました。その時、一番困ったのは、1歳未満の赤ちゃんの預け先が皆無に等しいことです。この時期、認証保育所はどこもいっぱいです。一時保育も空きなし。結局、預け先がみつからず、下の子のときはベビーシッターを利用したが、その費用は1回預けるだけで、1万円を超えます。仮に、毎日、利用すると、月20万円以上の出費になります。しかも、仕事をするためには不可欠な出費にもかかわらず税制上、経費として認められない。
- ファミリーサポートの認知度が低く、探しても見つからなかったり、折角見つかったも「雨の日はちょっと…」とか別の子が入っていたりと、断られたりするので利用しにくい。下の子が体が小さいと言う理由で保育園入園を断られ2年育休を取っていた時、職場から週に2日だけでも働いてほしいと言われ、緊急一時保育に週2日あずけたいと相談に行くと、仕事はあずけられる理由に入っていないと断られたことも納得いきません。なぜなら他に預けられている子どもたちは母親の習い事が理由だったためです。何が優先なのか、意味がわかりませんでした。
- 子育て広場や保健所は歩いては行けない距離で、児童館は歩いては行けますが、ハイハイの頃に行ったら、大きい子ばかりで萎縮して帰ってきた覚えがあります。シビックセンターにある一時預かりは1歳以上でないと利用できず、また仕事では利用できなかったのも、不便でした。ちょうどスタートした頃の頃で保育士さんも不慣れだったせいか、保育の仕方にも不安を感じました。
- 本駒込6丁目の自宅からは比較的近所にある地域センターで、ボランティアの婦人会による乳幼児の母と子を集めた会がありましたが、子どもとの遊びの合間に偏った思想を押し付ける啓蒙活動のようなレクチャーが度々入るためとても行く気が起きず、参加している他の母子も3～4組しかおらず、もっと母子中心で自由に参加出来る会を地域センターで開きたいと思っても、その思想を押し付けてくる団体に介入されそうで諦めた経緯があります。

(9) 小学校のこと(5件)

- 子どもが小学校に入って、「保育園出身の子は反抗的」「保育園出身の子は落ち着かない」と言われることが辛い。→保育園では、「何故そうしなくてはいけないのか」を丁寧に説明してくれて、子どもなりに先生の指示を理解していたから従えたが、学校の先生は「なぜ」を伝えずに従順を求める。子どもに「従順になれ」とは、親として言えない。
- 先生に従わない、反抗的、落ち着きがないなどの子どもがいると、「親の愛情が足りない」「親がもっと子どもに接すればいい」など、家庭の問題にしようとする人が、小学校の先生にも、保護者にも多いのが辛い。→親も努力していても、子どもの育てにくさや、先生との相性などもある。その子の親だけに責任を押しつけるのではなく、たくさん手や目や声かけが必要な子がいたら、それを前提として、先生を加配するなり、先生同士のチームワークを作るなり、その子の親が孤立しないように親同士も助け合うことが必要だと思う。
- 小学校で、先取り学習をしている子どもを中心に授業が進み、先取り学習していない子は置いてきぼり、という状態が辛い。→真面目に学校に行き、宿題をきちんとやれば、勉強が身に付く、というカリキュラム、それができる教員配置であって欲しい。結局、お金をかけて塾に行かせるか、親が付きっきりで勉強を教えなければ勉強が身に付かない、というシステムでは、経済的にも精神的にも子どもも人数は望めなくなる。
- 小学校に行ったら、お母さんが家にいることを前提とした運営（「明日までに〇〇を持ってきて下さい」とか、保護者参加を求める学校行事の日程告知が1～2週間前になってから来る、学校行事が朝でも夕方でもない中途半端な時間に設定される＝一日仕事を休まざるを得ない、など）がなされているのが辛い。→社会人として人にももの頼むときの最低限のマナー（時間的余裕をもって告知する、相手の都合も考える）に配慮した運営をしてほしい。

- 小学校行事などが平日に集中していることです。近所づきあいも、多様な年齢や人々なのでとても難しいです。

(10) 子育ての仕方のこと(4 件)

- 何を食べさせたらいいのか迷うことばかり。毎日の食事には頭を悩ませています。夜早く寝かせたいが、保育園から帰るとどうしても 10 時過ぎてしまう。生活リズムを前倒しにしたいがなかなかできない。
- 産まれて育て始めて直面する問題は、自分も子どもも 2 か月くらい自宅にこもりっぱなしで、他のお母さんがどうやって育てているのかと情報を得にくいことです。
- 保育園に通う前、昼間仕事をしつつ育児をしている際、まだ 0 歳児の子どもがむずがって泣いてどうにもならなかった時。一人で煮詰まって、困り果てていた。今思えば、5~10 分でも散歩に出れば良かったのだが、発想の転換がスムーズに出来ないほど疲れてしまう時は本当に子育てに辛さを感じる。大変だと感じるのは、目に見えにくい心の成長をどうサポートするかと悩む時。今も「これで良かったのか」を自問する日々。
- 一人目の時は子育てについて何も知らなかった事にびっくりしました。生後 1 ヶ月過ぎてから単発的に仕事を開始したのですが、すぐに乳腺炎になりかけたりと何かがおきてから対処するしかないことだらけでした。先輩ママたちの話をもっと聞けるような生活を子どもの時からしていたり、妊娠中にうかがえる機会があるとよかったのにと思っています。

(11) 出産後しばらくの間(4 件)

- お互いの実家の援助にはかなり恵まれているが、生まれてしばらくのマタニティーブルーの時期。この感情は自分ではどうしようもなかった。
- 1 番大変だったのは出産後 1 ヶ月間(母乳が足りているのかどうか分からず、際限なく授乳して乳首の痛みがひどくなった時、夜中の授乳後、子どもがなかなか眠らなかった時など)。
- つらいと思ったのは、産後の自宅療養中、ちょっと買い物にもいけなかったこと(体がつらいのと、子どもを一人きりにできないため)。自分が病気になるって動けないのはどうしようもありません。子どもの相手ができません。子どももベッドで寝ているうちはいいのですが、一人遊びもできない間は大変でした。
- 生んで 1 年以内、出産後の体調の戻りが悪いのにもかかわらず、子どもがどんどん遊びたがるのでそれに応えてやるのが大変でした。歩く事が辛いので、ベビーカーやバスを使って遠くまで出かける子育て広場のような施設が近所にも欲しいと思いました。

(12) 子どもの発達・成長のこと(3 件)

- 産休で乳児と二人っきりで家にいたとき、自分が子どもに話しかけないと子どもの言葉の発達が遅れるのでは、と不安で、義務的に一生懸命話しかけるのが辛かった。→乳児期の未だ眠ってばかりいる赤ちゃんを抱えた母親が集える場が必要。少し大きい子(1 歳以上)の広場などはあるが…。
- 障害児であった、という意味では、何処まで周りの方に援助をお願いしていいのかを悩みました。言ってしまうと簡単だったのですが、そこまでが大変でした。買い物や気晴らしも出来ず、密室育児にならないように休日も子どものために出来るだけ刺激を与え、発達を促すように努力をしました。その為いつも疲労困憊。
- 子どもの発達段階にあわせた悩みがあるとき。

(13) きょうだいへの対応(3 件)

- 下の子が生まれると、どうしても下の子にかかりっきりになってしまい、上の子には、お兄さん(お姉さん)になったのだから、がまんしなさいとか、がんばりなさいとか、そんな対応しかできない時期がありました。子どもを見る人が自分しかおらず、片時も下の子を離すことができないのです。それで、上の子が情緒的に不安定になり、悪循環で、その状況からどう抜け出したらよいか分からない時期がありました。
- 子どもは 2 歳違いがベストと信じて生みました。年子はありませんし 3 歳以上離れると一緒に遊べないし、子育て期間も長くなり職場復帰には不利だと思ったからです。でも実際は 2 歳違いだったためにこんなにも大変だったのだと思っています。一番大変なのは「寝かしつけ」でした。下を寝かそうとする時間に 2 歳の長女が足にしがみつき「抱っこ、抱っこ」と泣き喚くのに、何度切れたことでしょう。蹴り倒しても投げ飛ばしても起き上がってしがみついてくる長女、あれは間違いなく虐待でした。
- 2 人目、3 人目の出産のときの上の子の面倒を見るのが、大変。

(14) 小学校入学後の放課後の過ごし方(3 件)

- 卒園後、小学校入学後の放課後対策が今から心配。0 歳児の保育料程度までなら負担できるので、民営化も含めた

学童保育の質の向上を求める。

- 育成も小3までなので、放課後の過ごし方が心配です。
- 4年生になったときに育成室がなくなる。放課後や夏休みなどの過ごし方が心配。

(15) 区への対応(3件)

- 上の子の出産が1月下旬、復帰を1月当初からということにしました。子連れで入園相談に行った際、ハナっから1月に普通の保育園の欠員があるはずがない、無理！の一言で、相手にして貰えませんでした。当時、実家が目白台にあったので、目白台の緊急一時保育所に入れました。バスで音羽に出て、毎朝実家に預け、お祖母ちゃんの出勤もあるので、そこから保育所に預けて貰い、帰りはお祖父ちゃんが一旦実家に連れて帰り、実家までお迎え、3ヶ月でしたが大変でした。最近の入園相談は少し改善されてきているようですね。
- 行政には、こどもを育てやすい環境、こどもの育ちを十分に配慮した施策を実施することがどんなに大事なことであるかを判って頂きたいです。将来に大いなる不安を覚えます。
- 2人目を出産する前、保育課の窓口で2人目の保育先を相談しにいった時の対応、一生、忘れません。「お母さん、いつ仕事に復帰されるのですか。自営業なので、復帰されないと、上のお子さんが保育園に在籍する要件がなくなり、退園させられますよ」という一言。「2人目が生まれておめでとう」という一言の前に、上の子が保育園を追い出されるかもしれないという説明を受け、保育課に対する不信感が一気に高まりました。

(16) 周囲の理解がない(2件)

- 出産前に一番つかったことのひとつは、妊婦に対する思いやりのなさです。妊娠9ヶ月でおなかのすいかのように膨れ上がっているにもかかわらず、電車ではだれも席をゆずってくれません。優先席の前に立っても、です。二人子どもを産みましたが、席を譲ってもらえたのは通算で5回にも満たないです。生まれたあとも、小さな子どもとその親に対する社会の冷やかさには落胆を飛び越え怒りすら感じるようになりました。シビックセンターだってそうです。授乳室を使うのに、なぜ名前を記入しないといけないのか。オムツ替え台が整備されておらず、区との協議を傍聴の時に、やむなく給湯室の流し台を使っておむつを替えました。赤ちゃんをおんぶして少子化委員会を傍聴した時は、休憩時間中にベンチで授乳をしました。
- 子育てに関する社会の目が厳しい。「いじめが多いのも、少年犯罪が多いのも、今の親の育て方が悪い」といわれるのが、本当につらい。いじめも、少年犯罪も社会も勝ち負け社会にした社会全体の責任。子どもがいない人にも、子育てが終わっている人にも、子どもたちに温かい目を向けてほしい。

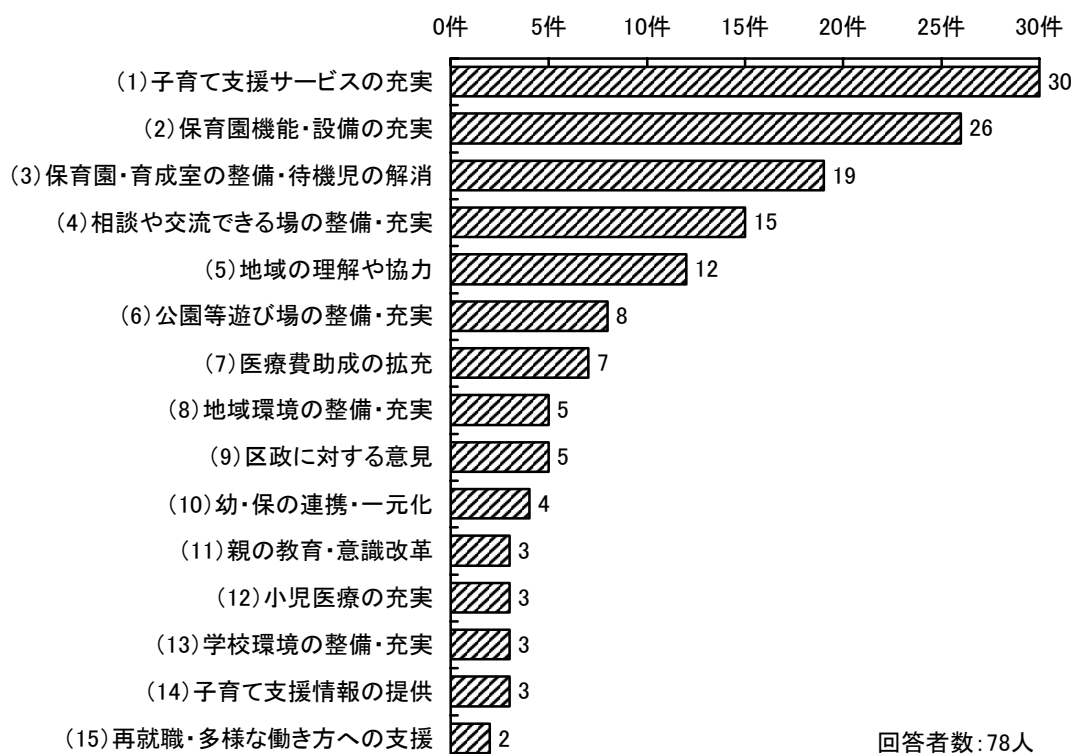
(17) 病院のこと(2件)

- 土日やっている病院が少ない。
- 信頼できる産院の確保や子どもの病院。

(18) その他

- 幼児を狙った犯罪が多く、外で自由に遊ばせられない。一人で外出させられない(来年から小学校通学なので不安。アメリカのように通学にも成人が付き添わなければならない社会になりそう)。
- 小学生になって、子どもが自分より先に帰宅することになり、寂しい思いをしていることが、時々、会話でわかる時。子どもが他人に迷惑をかけた時。
- 保育部長の発言にたいして、保育園に通わせている子どものほうが出生率が高い、というのは関係ないと思います。私は専業主婦だったとしても3人もうけようと思っていたし、就業しているのは「子どもはいつか自分の世界をもって巣立っていく」ものだと思い、自分自身の世界も大切にしようと思い、職についています。子どもにばかり集中してしまうと、ほかの子と比べたり、と自分の子どものおとっている部分にばかり目がいきってしまう、というもあります。子の数はその夫婦の考えであり、恵まれているからでは必ずしもないと思います。
- 自分の思い通りに子どもが動いてくれないとき。
- 送り迎えの時や運動会、お祝い会で他の子どものおじいちゃんやおばあちゃんの姿を見ることも、私にとっては辛いことです。最も辛いのは、保育園行事である祖父母の会です。我が家からは参加することは無く、それでも乳児クラスの時は辛いと思っているのは私だけで良かったのですが、幼児クラスになると子どもも自分のおじいちゃんとおばあちゃんは来ないということで寂しさを感じている様子で、なおさら辛くなります。
- 親同士の関わり方の難しさを感じています。
- 病院や習い事などの送迎。保育園と小学校のギャップ。

2. 子育てしやすいマチにするためにはどうしたらよいと思いますか？



(1) 子育て支援サービスの充実(30件)

- お迎えから晩ご飯までとか、それだけでも気兼ねなく頼めるようなサービスが手近にあるといいな、と思います。あるいは、大学まで送ってもらおうとか。それだけで、全然違うだろうと感じます。
- 親のちょっとした外出や仕事のときに、安心して利用できる一時預かり施設を増やす。
- 病院へ行くとき、体調が悪いときなど、一時的に子どもを預かってくれるところは必要だと思う。2人目、3人目をつくろうと思った時、自宅ですーっと小さい子を見ろというのは、なにかと不便が多くなる（買い物、お風呂、食事の支度など）。
- 前日までの申し込みで、半日とか9:00-16:00位の時間帯で、下の子を預かってもらえるサービスがあるとありがたいです。親が病気だとか、保育ができないような事情があるとかではないので、傍目にはそれほど差し迫った状況には見えないケースだと思いますが、自分の当時の状況からいって、あると本当にありがたいと思います。半日一日、上の子としっかり向かい合うことで、上の子が安定して、お姉さん(お兄さん)としてがんばろうという気持ちも生まれて、それによって母親も気持ちが安らぎます。悪循環から抜け出して、家の中がうまくまわっていくきっかけになると思います。
- 保育園には1歳児クラスから預けています。うちはまだ一人っ子なので、異年齢児との交流から言葉遣いやマナーなどを学んだり、いい刺激にもなっています。しかし、保育園は原則、共働きが条件なので専業主婦の人は保育園には預けられず、なかなか息抜きもできないと思います。そういうときに文京シビックセンターにある3階の“ちょっと預ける”制度の場所があったり、就業者で子どもが病気になっているときでも、どうしても仕事に出なければいけない状態の中で、病児を預けられる病院などがもっと普及すれば、子どもも産みやすくなるし、働きやすくなるのではないのでしょうか。
- 子育てに協力的でない夫のため、自分が美容院に行くために、新幹線に乗って大阪の実家まで帰る、という話を聞いたことがあります。そんなことのないように、人間関係がきちんとできた上で、安心して子どもをちょっと預ける場所が確保されていたらいいと思う。また、同じような観点から、出産後の「母親学級」のようなものを継続的にやったらどうだろうか？それも、なるべく近い場所で行うのがいいと思う。働いていない親としては、子どもが幼稚園に上がるまでがとても大変なので、それまでの期間について、何らかの方策を考える必要があるように思う。
- 幼稚園の空き室、閉園幼稚園などを利用した一時保育サービスの設置。基本的に一時保育とそうでない場合の保育は、現状では別の場所の方が利用しやすいと思います。

- 日常は安心して保育園に預けられるのですが、緊急に日・祝日に預けられる一時保育があれば助かります。父母連に加入している17園の保育園の保護者（その保育園の役員を筆頭に）がローテーションでその地域の保育の場所を確保し、時間を決めて保育をする。
- 宿泊を伴う緊急一時保育を整備する。親の病気、葬祭などへの対応、被虐待児の一時保護など。採算の取れない事業であることを前提にした事業運営が必要。虐待してしまう親に対する支援プログラムの整備（カウンセリング、ワークショップなど）。
- 文京区にも24時間体制の保育施設が欲しい。病中・病後の対応できる施設も…。
- もっと仕事を持つお母さんへのサポートを増やしてほしい。病後児保育や一時預かりの場所が増えると助かります。
- 病後児保育ができる機関増加、病後児保育時間の延長も考えて欲しい。
- 病後児保育ルームの増設、時間の延長も認めて欲しい。一時預かり施設の増設。
- 病後児保育の場所をもっと増やして欲しい。
- 病児保育をもっと増やす（預かる人員、時間など）。
- 病後児保育をもっと充実させてほしい。区内に1件では少ない。豊島区のように、産後支援（ヘルパー派遣）をしてほしい。
- 病気の子を預かってくれる施設があれば有り難い、と感じますが、病気の子を置いて仕事に行くには、親としての葛藤もあります。親の“気持ち”も一緒にフォローもしてくれるような安心して預けられる環境が必要。
- 子どもの熱が何日も下がらず病後児保育に申し込みをしましたが、キャンセル待ちで結局預けることができませんでした。文京区全体で1ヶ所は少なすぎます。病後児保育の増設を望みます。
- ファミリーサポートの充実を。ベビーシッターは高額。しかし我が家ではシッターを頼まないと現実的にお迎えが間に合わない。職場復帰する際、ファミリーサポートにも登録したが、毎日の利用など、提供会員が少なすぎてとても無理とにべもなかった。文京区はたとえば、地域のお祭りが盛り上がるように、地域のつながりが生きている。その地域と連携をとって、地域ぐるみで子育てをサポートしてくれる状況をつくって欲しい。地域でお互いが知り合えれば、防犯にも役立つ。
- ファミリーサポートも時々利用させていただいているのですが、「ちょっと預ける」という感覚には程遠く、よっぽどでない頼めません。金額的にはお安いと思います。
- ファミサポでは週3日しかあずかってもらえないし、シッターだと家にあげないといけないので、とても嫌なのでたのめません。
- ファミリーサポートセンターのような中途半端な制度ではなく、依頼会員のニーズにきっちりこたえられるベビーシッターサービスの整備が急務です。民間のシッターサービスは料金が高いうえ、1、2時間預かってもらうことができません。たとえば、区とどこかのシッターサービスが提携（あるいは区でサービスを新たに整備）し、例えば1500円の料金のうち、区が500円の補助を出し、利用者が1000円負担。最低2時間からでもサービスが利用できるようなしくみがあれば、一時保育の需要の相当部分は満たせるはず。一方、在宅で預かるのが困難な方もいるので、シビックのキッズルームなどで利用者が契約したベビーシッターが利用者の子どもをみる、という新しい仕組みがあってもいいのではないのでしょうか。つまり、区は安全な「場」だけ提供し、その中で提供されるサービスは区民と事業者で埋めていくというもの。
- 区ができることとして提案したいのは、これだけ暇そうにしているお年寄りが周りにたくさんいるのだから、地域の子育て支援についてファミリーサポートなど、利用できるシステムをもっと広めてほしい。あてにならない祖母より、隣のおばあさんが保育園にお迎えに行ったら夕ご飯を食べさせてくれたら近いし楽だな～。地域交流もできるし。と思います。
- 夫や実家に代わるサポーター制度を作る（自分で出向かなくとも、それぞれの家庭にサポーターを割り当てる、または保育園のような場所に週1回以上、通う制度を設ける＝内向きな母親を家に籠らせないようにするため）。サポーター、または特定保育園が一時保育を気軽に受け入れられる体制を整える。サポーター制度の延長で、家事援助なども行えるようにする、また保育園の送り迎えや病後なども気軽に預けられる「他人おばあちゃん」のような存在が欲しい。文京区はファミリーサポートシステムがほとんど機能していません。提供会員が少なすぎ、事務局の対応も悪くやる気も感じられません。私は台東区の依頼会員でもありますが、驚くほど内容に差があります。一度他区の体制など勉強されてはいかがですか？文京区はお金持ちが多くお互いが助け合おうという精神が低いのでは？と感じずにはいられません。
- 家事を安く代行してもらえらる仕組み。
- どうやって子育てしていいか悩んでいる人も多いと思うので、保育園以外の親子（乳児）にも、積極的な子育て支援（保育園体験やあそびを教える）が必要で、そのために区は予算や整備（受け入れ施設や保育者の確保など）を行うなどする。

- 産後保健師さんが訪問してくれますが、とっても安心できました。密室育児にならないように、継続的に訪問してくださいとお願いしています（私の場合は保育園に入園できたので必要ありませんでしたが）。いつでも来ます、と言ってくれますが、とりたてて困っていることもなく、わざわざ来てもらうのも悪いか、と思いましたので。
- 年齢にあったイベントなど。少し前に区が講演会を催していたが、確か「子どもと離れてリフレッシュ」みたいなことをかいていたのに、講演時の子どもの保育は有料というのは、親切ではないと思う。そういった内容の時にこそ、誰でもが利用しやすいように、保育無料で、多くのお母さんに講演を聞いてもらい、リフレッシュしてもらうべきだと思う。
- 子育て系の保健所のセミナーなどを平日ばかりではなく土日でも欲しい。
- 各地域で子育てが終わった人と専門性をもつ保育士・保健師などがグループでお泊まりも可能なハウスを運営する。点在させる事によりいつでもどこからでもどんな理由でもアプローチでき、保育園、幼稚園にもそこから通う事ができる。

(2) 保育園機能・設備の充実(26件)

- 現在子どもは保育園に通っているが、経験豊富な先生たちに見守られ、また同じ年齢のみならず様々な年齢の子どもたちとともに生活することで、とてもいい形で成長させてもらっていると感じている。親の立場としても、保育のプロにみてもらっていることの安心感があり、非常に助けられていると感じるし、子育てが楽になっていると思う。就労していない人も保育のプロに短時間でも見てもらえるようなしくみがあれば、すべての子どもを持つ親にとって、子育ての大変さを軽減できるし、子どもにとっても親だけでなく様々な人と関わる機会を持つことで、経験が広がるのではないかな。
- 文京区には立派な公立保育園があり、先生方にはずいぶん助けていただいています。この公立保育園の豊かな保育を削るのではなく、これをより充実させて、施設と保育士を増やし、より多くの保護者が利用できるようにすれば、少子化も虐待も減るのではないのでしょうか？何より、先生方に余裕がなければ豊かな保育はできません。保育は市場化に馴染むものではありません。コスト削減ではなく、子どものより豊かな未来のために、どうやったら豊かな保育ができるかを考えていけるような区になってくれたらと思います。
- 保育園は、共に育ちあうことができ、また異年齢の友達とも接することができ、刺激をもらいあい、心が豊かになる素晴らしいところ。また、どの家庭も、どの園にいても、均等の教育（サービス）を受けられることも素晴らしい。母がどんなに家庭で頑張っても、体験させてあげられないことがたくさんできる。これからの子どもの育ちのためにも、今の公設公営保育園はなんとしても維持してほしい。保育園は「コスト」がかかる場所ではなく、未来をはぐくむ「投資」の場である。
- 地域で子育てすること。保育園の先生方の知識を、文京区の財産とみなし、保育園という名前を取り払って、地域全体のサポートをする核になる施設にしてほしい。例えば、保育園機能を残しながら地域の人たちが集まれる場にする。子どもが多く集まる分、おじいちゃんおばあちゃん世代の人にサポートしてもらう。
- 子どもを産んだからすぐに親になれるわけではありません。子育てには、経験とたくさんの子どもの見てきたことがとても大きな力になります。私は、保育ママさんや保育士の先生方にたくさんのことを教えていただきながら、ようやく親をやっているようなものです。不安や疑問を持ったとき、そのような方々からのアドバイスや、同じ保育園に通わせている人の「ウチの子もそうなのよ」という言葉にどれだけ助けられたかわかりません。保育園や保育ママさんのような公的援助は、仕事をする・しないに関わらず、専業主婦の家庭でも受けられるようにしたいと思っています。地域のすべての子どもたち開放された保育園にはできないのでしょうか。
- どこかの自治体では、乳幼児健診を保健センターではなく、自分の家から一番近い保育園で受けられると聞いたことがあります。そこでは、地域の子どもたちを担当する保育園が決まっているとか。保健センターでも子育て相談や子どもの発育状況を把握することをしてしていますが、小さい子を持った親がそこまで行くことすら大変です。歩いて行ける距離にある保育園の中でその機能を果たすこと、また、預けたい時にちょっと預けることができれば、素晴らしいことだと思います。
- 防犯の点もあるのですが、保育園の子育て支援、門が閉まっていて正直なかなか入りづらいと思います。保育園を子育て支援の拠点にするのであれば、もう少し地域と関わるようにしていった方がいいと思います。
- 保育園、児童館等、子ども対象施設とそのスタッフの質向上。
- 保育園については、とにかく保育者の質を保って欲しい。保育のスキルはもちろん、人格的にも優れた保育者をそろえて欲しい。そのためには、社会で平均以上、公務員でも優遇された給与体系を整えて欲しいと思う。幼稚園教諭より保育園の保育者のほうが給与が低いなど、言語道断。大事なところには、きちんとお金をかけるべき。
- 仕事を持っているものとしては、保育園の問題は常に心配。上の子どものおときは入園に関する情報も少なく、入れるかどうか出産前から不安だった。また今度はせっかく入園できたと安心していたのに、民営化の問題を知って、子どもの生活環境が脅かされるのではないかと常に心配がつきまとっている。民営化に反対ではないが文京区の保

育行政に安定的なポリシーが見えないため、今後子どもを安心して預けられるのかますます不安。仕事をしているものにとっては、安心して仕事を続けながら子育てする(あるいは子どもを産もうという動機が補強される)には、保育園の入園が確保され、また質の高い保育が受けられる保障があるという状況が何よりも必要。そうでないと子どもを持つことに二の足を踏んでしまう人も少なからずいるのでは。

- 保育園がもう少し柔軟性があったほしい。保育士の人数が少ないようで、余裕なく見える。
- 子育てしやすいためには、安心して預けられる場所が必須。私にとって保育園ですが、この10年間にだいぶ変わりました。先生数が減り、先生が忙しそうで大変に見えます。以前はもっと先生とお話できたのに。延長保育ももっと充実してほしいです。
- 保育園の防犯関係を見直してほしい(送迎の際の確認、警備員、男性の保育士を増やすなど)。
- 保育園は社会性がつき、異なる年齢の子どもと接することができずばらしい。また安心して預けられる、そして安全が確保されていることを望みます。
- 保育園・幼稚園の先生方にはプロとしての専門性や経験をふまえたお話を、もっと気軽に話せるような機会があるといいと思います。異年齢の子どもだけではなく、異世代間のつながりも良いと思います。
- 小さい子を保育園に預けるのは不安が多かったものの、実際に通い出すとお友達ができるし、生活面の自立も促されてよい経験です。親も余裕を持って育児ができると思います。しかし保育園はソフト面(先生方の接し方など)は安心できるものの、ハード面が悪いと感じることが多いです。時代遅れとしか思えない外観の保育園が多いし、新しい保育園は狭いです。区役所や都心のオフィスビルとのギャップの大きさに憤りさえ感じてしまいます。
- 「子育てしやすい町」。非常に難しいですが、「大変なこと」にも書いたように、子どもを安心して産み育てる環境があるかないかが重要だと思う。そのためには、保育園の充実・環境整備、地域の交流とサポートが必要だと思う。
- なんでもかんでも保育所に機能を持たせようとするのも、だれの利益にもなりません。一時保育と通常保育は相容れないものである(とくにスペース的に大きな制約のある文京の保育所の場合)ことは、米軍が実施した保育園改革でも証明済み。多様なニーズを追い求めるだけでなく、そのニーズを満たす適切な器が何なのかをきっちり見極める必要があります。
- 区立の保育園で、15時間くらいの保育をして欲しい。朝6時から夜9時くらいなら、子どもの睡眠にそこまでマイナスにはならないと思う。キャリアアップのため、育児休暇中に大学院に行く場合なども保育園で預かって欲しい。
- 保育園は、毎日楽しく通っています。上のクラスの子、下のクラスの子とも交流があるので、大家族のようです。安心して預けて働いています。先生方も本当によくやって下さっています。保育園のソフトや教育面にこそ公的補助が必要だと思います。いらぬ箱物にお金をじゃぶじゃぶ使うのはやめましょう。
- 働いていても子どもを預ける場所がない。また働いていなくても、子どもを預けて集団生活させたほうが、子どもにとっても良いことだと思う。3歳から幼稚園に預けることはできますが、それ以前にも預ける場所があっても良いと思う。子どもと1対1ではしつけなどもなかなか難しく、ストレスもたまり、虐待やノイローゼなども起こりやすいと思う。
- 幼稚園、保育園とも、必要なときに必要なだけ、保育を受けられるよう、かつ、幼稚園も保育園も、将来の立派な市民を育てる、という視線で存在して欲しいと思います。そのためには、幼児教育をもっと必要不可欠なものとして、思考や教養の土台を作る、位の視点で行って欲しいと思います。そうすれば、自然と、保育士、幼稚園教諭が、一生誇りを持ってできる仕事にならなければいけないし、それに見合った社会的地位が必要だと思います。
- 保護者の負担を軽減することが重要だと思います。たとえば、おむつに全部名前を書く、着替えを4着用意する、夏のプールの準備に、着替えとおむつをタオルでくるんで所定の場所にゴムバンドでとめて置くなど、細かな負担が大きいです。以前、引っ越し前に通園していた保育園では考えられないことです。お役人的な前例主義ではなく、どんどんと現場を改善していくような動きを期待したいです。
- 保育園の存在はとても大きいし助かる。0歳児のときは仕事をしているため預けることに抵抗もあったが、夜7時すぎまで預かってくれるのでなんとか仕事を切り上げて帰ってくる事ができる。
- 保育園は親にとって、オアシスです。たまたまよい先生にめぐり合っているからかもしれませんが、子どもに自分の気持ちを表現させる、いろんなことをやる気にさせる、社会生活の基本(マナー、相手の話をきく、相手の気持ちを考える、気持ちよくすごす)など、本当に子どもを導くのがうまいと思います。親のお手本とも思えます。
- 保育園の良いところは、子どもの幼さや弱さを受容し、共感しながら、成長を促す、気の長〜い関わり方をしていること。福祉職と教育職の基本発想の違いを感じる。

(3) 保育園・育成室の整備・待機児の解消(19件)

- 働くお母さん達のためにも保育園や育成室を増園(もしくは先生の人数を増やし、現状園で預けられるようにする

＝待機児童を少しでも減らせる)。

- 保育園、育成室の待機児童をなくし、働く親をサポートして欲しい。
- できれば保育園や学童保育は希望すれば必ず入れるようにしてほしい。
- 公立保育園そのものの拡充（新規増設、敷地拡大などによる定員増加）。
- 待機児童は当然ゼロにする、途中入園も常時可能なように十分な保育施設を増設（民間委託はダメ）する。
- 保育園をもっと増やす。
- 保育園の数を増やすこと。
- 保育園、育成室の延長時間の拡大、受け入れ人数枠拡大を。
- 保育園の数を増やし、親がゆとりをもてるようになれば、少子化も防げ、虐待などもなくなると思う。
- 共働き世帯にとっては待機せずに、保育園に入園できることが望ましいです。保育園の良いところは異年齢交流が盛んなことです。一人っ子や長女、長男にとっては上級生を身近に感じたり頼もしく感じることができるし、上級生にとっては下級生に対して加減しながらの付き合いが学べる良い機会だと思います。何かと弱者に対する犯罪が多い世の中ですが、人と人の関わりについて、思いやりについて、学べる機会を増やすことは重要だと思っております。
- とにかく保育園の数が足りません。25%の整備率が妥当とは思えません。コストセンターとしてとらえるのではなく、将来に向けた先行投資という考えをまず保育課に持って欲しいです。逆に、その投資を怠るのは責任放棄であり、区民からみれば大きな機会損失となります。その責任を区にはもっと自覚して欲しいです。そうでなければ何も変わりません。
- 「待機児童の解消」は絶対必要だと思う。それだけでも、誇りに思える行政ではないかと思える。地区によってばらつきがあるかとは思いますが、これから入園を迎えようとする園児達に対しては、現状に柔軟に対応できる増設や保育士増員することで、その年その年の必要な保育施設の数を是非確保してあげていただきたい。
- 保育園の数が少なすぎる。共働きの家庭は、今や半数を超えるはず。しかし、母が働くには保育園の存在が必須。元来子どもは授かりもの、そして育児休暇も1年あるにもかかわらず、保育園入園のために、計画出産をしたり、育児休暇を切り上げなければいけない現状はおかしい。区として働く母を責任をもってサポートして欲しい。それが、少子化対策にも絶対つながるはず。
- 出産後の母親へのサポートや、子どもを安心して預けて働けるよう、保育園や学童保育の充実などを望みます。これらは、やはり行政が責任をもって行うべきことで子どもの育ちに関することに安易に市場原理を持ち込まないで欲しいと思います。また、最近では、子どもをまきこむ悲しい事件も多いため、防犯対策なども気になります。
- 小学校4～6年の間も、預かってもらえる機関が欲しい。
- 育成も小6まで必要！
- 育成室も待機児童がいるらしいが、今から不安。働く親にとっては、育成室に入れなければ、仕事をやめるしかない。仕事は今の時代、一度辞めたらなかなか再就職は難しい。核家族化している今の時代の働く母親を心底サポートしてほしい、と思う。繰り返しになるが、それが少子化にもつながると思う。
- 学童保育の終了時間が他の区よりも早く、働いている母親にとって精神的にも負担がかかるので、もう少しどうにかならないか。
- 育成室が、もっと「家庭」の代わりとなるような場所になるといいな、と思います。

(4) 相談や交流できる場の整備・充実(15件)

- 各地域に、子育て駆け込み寺のような、悩んだり、困ったりした時に相談に行ける場が欲しい。そこには、世話好きのお仲間おばさんのような方がいて（団塊世代の知識や能力・経験を生かすことができる）、この相談にはこの方を紹介して、といったコーディネートをお願いできたら素敵だと思う。地域の教育力も上がるし、挨拶が飛び交う、不審者を地域でチェックするような雰囲気もでき上がるのではないかとと思います。
- どんなことでも話し合える場所がほしい。「お互い様」といえるような他人とのコミュニケーション作りができる環境。子育ての知識を高めたり共有できるような講座やサークルがあるといい。
- 子ども達同士が触れ合えて、ママ友達ができる場所や情報交換ができる場所が増えればいいなと思います。
- 育児においても様々な相談機関や利用しやすい施設がある。
- もっと、お母さんお父さんが駆け込みやすい場所があればいいと思います。
- 家庭で一日中育児をしていた3年間は、やはり密室育児になりがちだった。当時住んでいたのは文京区ではないが、公共の育児広場のようなものは、月に2、3回程度の開催だったので、いつでも利用でき、就学前児の子育てについての専門家が常時駐在しているような施設があればさらによいと思う。

- 子育て関連の悩みをメールで子育て経験者、保健師や保育士など専門家（OBも含む）などにいつでも相談できるサービスもあるとよい（日中決まった時間しか相談の電話ができないと仕事や子どもの相手などで忙しく電話しにくいので）。そういうメール相談で子どもの虐待などの恐れが見つかった場合には継続してサポートできる体制もあるとよい。
- 現在の保健センターでの「子育て相談」は最悪です。カウンセラーと1対1で相談するよりも、たくさん子どもたちと一緒にいる自分の子を見る、他の親と話をすることが、子育ての不安をなくすことになり、親の知り合いを増やすことが、密室での育児を防ぐことになると思います。
- 子どもは2人とも1歳から保育園に通園しているのですが、小さなうちから大勢の子どもたちと接することで、いろいろなことを覚えてきたり、刺激を受けることも多いようです。特に異年齢の子たちとの交流は、兄弟で遊ぶような感覚を味わえる、貴重な場だと思います。たとえば、保育園以外にも、小さな子どもたちが自由に遊べる場を多く提供してもらえると、子どもたちの交流にもなりますし、親同士の情報交換もできます。現在も子育て広場が区内数ヶ所にあるとは思いますが、大人だけの行動範囲としては近いものでも、小さな子を連れて行くには遠いかな・・・と結局利用できる人が地域限定ではもったいないですね。区内の空き施設を使ってもっと多くの場を提供してもらいたいです。
- 学校とは切り離れた児童館の充実を提案します。乳児期から近所のお母さんや子どもとの社交場として毎日でも行きたい場所です。通学路が暗かったり遠かったりする場合も多く、学校とは切り離して地域の中に場所を作るべきだと思います。
- 児童館での引き続き、午前の会だけでなく、午後も親子で楽しめるようなメニューを増やす。0歳児のお母さんも気軽に参加できるような会をもっと町内会の掲示板などに貼る（わらべうた・体操・絵本の読み聞かせなど）。区報にどんどん情報を載せる。びよびよ広場も良かったが、なんとなく閉塞感があった。保健所で離乳食作り・幼児食作りの会などを増やす。地域のボランティアさんに、もっと児童館や小学校の校庭開放で小さな子が遊べるような環境作り。ただ、どんなに宣伝しても、来ない人は来ないですね。保育園は異年齢で遊んだり、関わったりする機会があり、子どもは楽しいようです。先生も保護者のことをいろいろな意味で助けてくれるので本当に助かっています。
- 児童館などで赤ちゃん連れが集まりやすい企画を多くする。また、それらの情報をホームページ上で見られるようにする。
- 子育てが大変だと思うのは、人のうわさや雑誌の情報にまどわされることがあるからだと思います。また、どこにどういった相談をすればいいのかわからないのも不安をあおる原因だと思います。
- 母と子の集まりを政治的な婦人団体等に牛耳られないよう、区が主催する会を設けて欲しいと思います。根津の地域センターで集まっていた「ひよこの会」では、場所を借りるために会費を集めて集まっていましたが大変盛況でした。こういった集まりこそ区に率先して場所を提供していただきたいと思います。
- 子育てしている人が交流できる場を作るだけでなく、誰でもアクセスしやすいようなものにしていくことが必要だと思う。具体的には、物理的に拠点をたくさん作ること、またそういう場所があることがもれなく子どもを持つ人に分かるようにしていく、その場を適切に調整できるスタッフの配置（例えば保育士などのプロや子育て経験者等）など箱物や場所を設定して終わり、ではなく、運営面でのきめ細かさ、継続性も重要だと思う。

(5) 地域の理解や協力(12件)

- おもにセキュリティ面で、地域の人とのコミュニケーションをもう少し増やしたい。マンション暮らしなのであまり地元の人とはやりとりがないので、保育園などを通してもっと仲間を見つけたい。不審者や子どもへの犯罪は、互いに見知らぬものであることから発生すると思うので、皆がもう少し地元の人を知り合うことが大切だ。
- 地域にどんな子どもがいるか、どんな人がいるか、皆が関心を持てる町にしたい。子どもを持っていない人や普段かかわらない人とも、子どもがかかわったり、子どもに関わってもらえるような場があるといい。地元の人の仕事取材に行くとか、交流の場を設けるとか・・・。子どもを育てることは特別なことじゃないし、子どもは特別な存在ではない。皆子どもから大人になっていくんだから、大事な未来の社会の一員として考えられるようなムードがほしい。
- 地域ぐるみの子育てサポートシステム。
- 近所ぐるみでの子育てが理想です。安全安心の面から、子どもも顔見知りの多い町のほうが、どこに遊びに行っても安心できると思います。また大人の目が多いほど犯罪防止に役立つのではないかと思います。
- 顔の見える関係を築く。保育園への行き帰り、自然と言葉を交わすようになった近所の人達との、ほんのちょっとした子どもに関わるやりとりが、子どもにとっても親にとってもプラスになっている。顔の見える関係を深くするのがベスト。顔を合わせる機会を意識的に作っていくことが大事。例えば周辺商店街のお祭り・イベント情報を頻繁に保・幼・小に流す（以前、毎日通っている商店街のイベント情報が至近の人達にしか伝わってなくて、後で「ど

うして来なかったの？」と言われて残念だったことがあった)、もしくは至近の高齢者施設や自治会と合同イベントをするなど、“連携”を高める。

- 町内には、子どものこと、子育てのことを気軽に話したり相談できる人が身近にいてくれるとありがたい。保育園に通っていれば、先生方や他の保護者との交流を通じて、子育ての参考にしたり、癒されたりする機会が得られるが、そうでない場合、孤立した親たちはどのようにして機会を作るのか？お隣のおばちゃんのような人が、ときどき教えてくれたり助けてくれたりすると、本当にありがたいと思う。もっと、子どもをやさしく暖かく受け入れる雰囲気を作って欲しい。
- 地域のつながりがあるとだいぶ違うと思います。
- 子どもが1人で歩いていても安全な町にする為にも地域住民の活用がもっと必要である。
- 保育園では敬老の日の頃に祖父母の会を開くことになっているようですが、我が家以外でもおじいちゃんやおばあちゃんに来てもらえず寂しい思いをしている子どもはいると思います。いつもお世話になっている祖父母への感謝の気持ちを表すためのようですが、それは家庭でできることです。運動会もお祝い会も両親と同様に見ることはできますし、普段の様子を見たいということであれば保育参観の時にも祖父母の参加は可能だと思います。現状の祖父母の会よりも地域との交流を通して、お年寄りを敬う気持ちを教えては如何でしょうか？
- 普段から顔見知りになるように挨拶をする。
- 地域で子育てするという意識への広報活動→区の予算増。地域での子どもに関する行事(ボランティア)等を増やし、人と関係(面識)をつける→子どもを見守る目(人)を多くする。
- 大人が子どもの幼さ、弱さを、見守り、共感的に関わり、成長を待つ、という意識改革・啓蒙(特に教育委員会以下教育公務員、保護者を対象に)が必要。子どもを叱ったり、抑えつけたりして服従させることを是とし、強圧的なしつけをしない親を責め、孤立させる風土が、親を孤立させていると思う。

(6) 公園等遊び場の整備・充実(8件)

- 子どもだけで外遊びさせられるような環境づくり。
- 身近な公園・遊び場の提供。
- 子ども達が安全に安心して遊べる場の提供(公園も見通しを良くする)。
- 子どもが安全に遊べる大きな公園を作って欲しい。
- 子育てしやすい街のためには、公園の整備を切に希望します。公園こそ民営化して、隅にカフェを併設したりして、地域の人々がつい寄りたくなるような場所、そして子どもを安心して遊ばせられるような場所にして欲しいです。今の状態では場所の無駄遣いです。
- 子どもが安心して遊べる場所を確保する。遊べる場所とは、整備されたところだけでなく、ただの原っぱ(都内では厳しいですが)、広～い場所で走り回れるだけでもよいのだと思います。最近では廃校になった小学校などの跡地を、プレーパークとして活用している自治体もあります。
- 小さな子どもを連れていても危なくなくて遊べる場所がもっと増えればいいなと思います。大人も同時にゆっくりできるならなおいいですね。
- 文京区は意外と公園があり、子どもと楽しんで遊んでいるが、休日でも遊べる児童館がない。実家(埼玉県上尾市)には、休日でも遊べる児童館が充実していて、体育館もついていて幼児が遊べる大きくやわらかいボールなど、たくさん遊具も有る。最近2館目ができたそう。使い勝手もとてもいい。

(7) 医療費助成の拡充(7件)

- 乳児医療費を小学校終了時までにする。
- 子どもの医療費無料の年齢アップ。
- 例えば小学生の医療費を無料化。
- 医療費も小学校6年生まで助成してほしい。
- 小学校6年生まで医療費をタダにして欲しい。
- 他の区では実施していますが、医療費の補助の拡大(←これって大きいと思います)。
- 未就学児童の医療費が自己負担ゼロと言うのはとてもすばらしいが、それ以降も病気やケガは続く。義務教育終了までそうしてもらいたい。自己負担ゼロが家計も親の子育ての中の精神状態も安定させる。

(8) 地域環境の整備・充実(5件)

- 小学生が子どもだけでも安心して歩ける町にしてほしい。たとえば、挨拶運動の徹底、街灯を増やす、警察や地域の人のパトロール強化などを。
- 変質者が出たり、泥棒が出たりしない安全な街になれば子育てしやすくなると思います。
- 安心して赤ちゃん連れで出かけやすいようなまちづくりをしてほしい(例: 駅にはエレベータとおむつ換え場所を設置。今不便なのは三田線春日駅)。
- 通園・通学・通勤時のまず思うこと。それは、きちんとした歩道の確保。歩道に自転車が置いてあることも多く、その上、歩道そのものが狭く、危ない(歩道の幅や電信柱が歩道の真ん中にある)。
- 子ども連れで入れるよう、広い座敷のある喫茶店や飲食店がもっともっと増えるといい。子どもがいても親が楽しめる場所をもっと作ってほしい。

(9) 区政に対する意見(5件)

- 区長によい方を選ぶ。区議会議員も、党に流されることなく、しっかり考えをもってほしい。区の幹部にもまっとうな人を入れる。
- 区長の一曰せんせい体験。区の子どもに関わる部署の人はもとより、区民に存在をアピールしたいのなら、区長が「一日保育士(一日園長ではない)」「一日小学校の先生」など、年に最低1回ずつ、区内全園・全小学校で過ごすと思う。そこから、子育てしやすい町への何かが生まれるかも知れない。
- もっと住民の意見が区政に反映できるシステムを作ってほしいと切実に思います。区の職員のための行政ではなく、住民のための行政をやってほしい。
- 税金、医療をはじめとした制度の充実。保育施設や職員の柔軟性を切望します。前例踏襲ばかりで新しい試みをしていない、他の自治体を真似するだけの施策などでは意味がない。また、「文の京」自治基本条例に基づく協働協治というならば住民の意見は必要不可欠ではないのでしょうか?
- 本物の保育ビジョンを考えるなら特区申請ぐらいする覚悟で区には取り組んでほしい。

(10) 幼・保の連携・一元化(4件)

- 保育園、幼稚園、小学校、すべての管轄の部署が、縦割り組織を超えて繋がりあい、真剣にトータルに「子どもの育ち」を考えてほしい。たとえば、保育園・幼稚園から、小学校入学に際し「この子はこんな個性の子」のような申し送りがあったら、小学校の先生も、子どもの理解の役に立つのでは、とか。
- 保育園でも、保育にとどまらず、きちんとした教育を受けさせて欲しい(幼保一元化が良い)。保育園にも教諭を置いて欲しい。
- 公立よりも私立の幼稚園に人気がかたよっているように感じるので『公立幼稚園』撤廃。その分を私立幼稚園、公立保育園への補助にまわす。
- 幼保一元化。保育園ベースで。幼児教育は不要。それよりも看護師と栄養士の配置のほうがずっと重要だと思う。親以外の人(保育園の先生、学童保育の指導員)が、継続して子どもの成長を見守り子どもに長く関わってくださることが、親にとっても何よりも心強い。健康、遊び方、しつけ、食事の与え方についても、見知らぬその場限りのカウンセラーではなく、子どものことを日頃からよく見ている先生方や看護師さん栄養士さんに相談できることがどれだけ助けになっているかと毎日思う。母親の仕事の有無に関係なく、多様な大人がひとりひとりの子どもに継続的に関わる機会が、区内のすべての家庭に平等に保証されることを切に望む。

(11) 親の教育・意識改革(3件)

- 親に「親の資質」を身に付けさせる教育。
- 親は、子どもの生活リズム(朝起きて夜寝る)に合わせた働き方を。22時までの残業が可能な保育サービスを求めるのではなく、子どもと夕食を食べ、団らんし、その後、子どもが寝ている間に早朝というか深夜から働いても良いのではないかと親が要求するサービスに答える方向で、子どもの福祉を害する保育改革がなされることのないようにしてほしい。
- 保護者同士、我が子以外にも声を掛けたり、注意したりできる関係を築けたら良いと思います。人それぞれに考え方の違いがありますので難しいと思いますが、話をする機会を増やすことで少しは改善されるのではないのでしょうか?プライベートで、というのは人付き合いの得手不得手もありますので、保育園等の協力が必要だと思います。

(12) 小児医療の充実(3件)

- 小児科専門医師のいる診療所の充実。小児科医の当直する病院の充実。
- 小児専門医院を増やすこと。
- 医療面でも診察時間の延長があると嬉しいと思います。

(13) 学校環境の整備・充実(3件)

- 安心して子どもをその地区の学校へ通わせることができる環境が整っている町に住みたいと感じています(具体的には、先生の質が良く、学校設備が整っており、教育方針を保護者にわかりやすく説明してもらえるような学校)。
- 小学校1、2年生は区内全小学校全クラスで、2人担任制に加配する。これにより、ポーターの子どもも排除せず一緒に成長することができるようになる。「元気すぎる子」の親も肩身の狭い思いをしなくて済むようになる。全ての子どもについて、特別支援教育で導入される個別指導プログラムを作成し、障害のある子もない子も一人一人にあった援助(学力の定着、人とのコミュニケーション能力の向上など)を受けられる体制をつくる。
- 学校の配置見直しは困りものです。少人数が良くて今の学校に通っているのに見直されて大人数になったら先生がちゃんと見てくれるのかとても心配です。

(14) 子育て支援情報の提供(3件)

- 文京区の保健所主催で3-4ヶ月の赤ちゃんを集めた交流会や離乳食講習をやっていたが、この告知を区報や文京区HPに載せてほしい。とにかく徒歩圏内に友達ができるのが重要だと思った。子どもが居るとなかなかPCを開けないので、携帯のサイトやメールに、交流会やイベントなどの情報があると嬉しい。児童館は行ったことないですが、児童館のイベントも載っていると利用したかも。
- 子育て支援関連情報は子育てポータルなどWebで一元管理・提供されていて、予約や申し込みもWebや携帯電話からできるとよい。
- 子どもがいる家庭に、その地域での子育て支援状況を妊娠時や出産時、転入時に教えてくれればいいのにと思いますが。調べるのもなかなか大変ですから。

(15) 再就職・多様な働き方への支援(2件)

- 出産等で退職した女性の復職支援として保育サービス付研修サービスやeラーニングサービスなどもあるとよい。
- 時短やワークシェアリング、働き方を少しスローにできる環境があれば、子どもにも余裕を持って接することができると思う(←これは「子育てしやすい町」とはちょっと違いますが)。

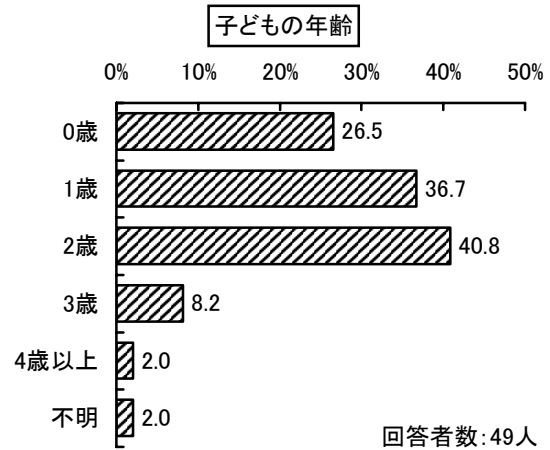
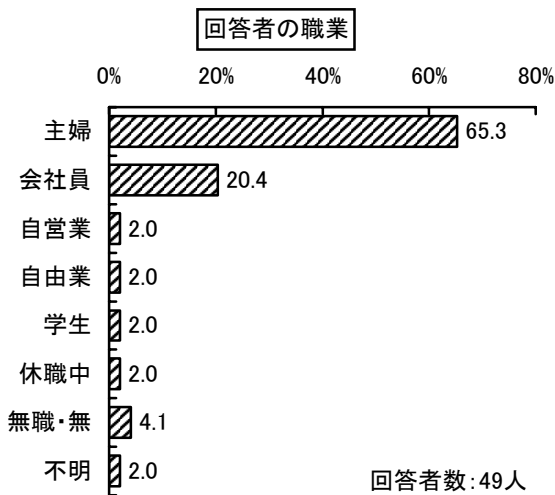
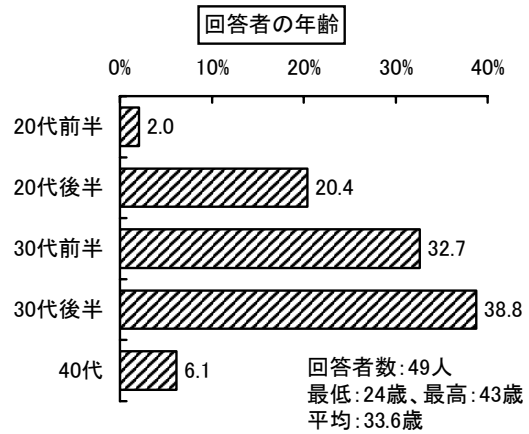
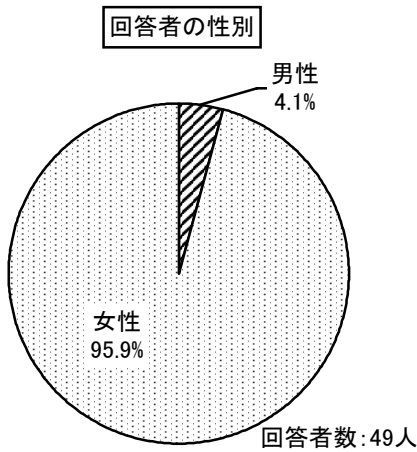
(16) その他

- 出産、子育てが「人生の中抜け」にならないようにしたいです。子どもを産んで育てるのが当たり前で、それがデメリットにならないよう、自分の選択肢が尊重される社会だといいですね。
- 会社がやらなきゃ区が手当てを出して父親の子育て育児休暇支援をするべき。父親の帰りがだんだん遅くなり、子育ての負担、家事の負担は母親に重くのしかかり、父親は家事・育児下手になり悪循環を生み出しています。
- 先日、配られた金券はそのときは嬉しいと思うけど単発なものなのであまり意味はないとも思います。
- 行政、地域、保育園、すべてが「おもいやり」の気持ちで持てる余裕があることを望みます。
- 区が出産・育児をサポートする万全な体制をアピールできていれば、安心できるかと思います。体制というのは、金銭面(通院・入院の助成金など)や生活面(たまには親もリフレッシュできるように一時保育の充実、公園設備など)など色々あげられるかと思います。
- 保育園に行ったおかげで、子どもだけに友達ができたのではなく、親同士も友達になれ、育児の悩みや仕事の愚痴なども話したり、ストレスも解消できる。また、近くに知り合いがいなかったのが、知り合いができたことは色々安心です。小学校入学は心配だったが、友達がいることは子どもも親も少し安心になった。またそれほど規模の大きな学校でないのが、先生とも意思の疎通がはかれたのはよかった。

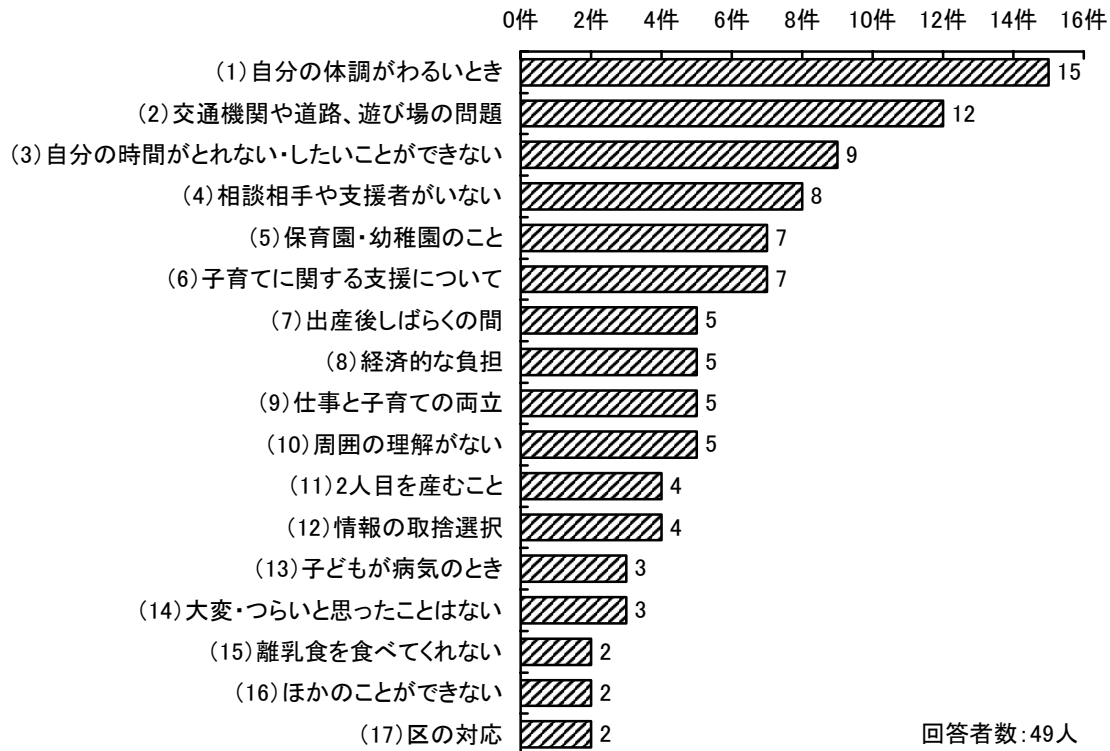
3. 回答結果②

[回答者の基本属性]

- 回答者数は 49 人。
- 回答者の性別は、95.9% (47 人) が女性
- 年齢は、約 4 割が 30 代後半で、平均年齢は 33.6 歳
- 職業は、65.3% (32 人) が主婦。
- 子どもの年齢は、2 歳が 40.8% (20 人)、1 歳が 36.7% (18 人)



1. 子育てが大変(大変そう)、つらい(つらそう)と思った(思う)のはどういう時？



(1) 自分の体調が変わるとき(15件)

- 風邪をひいてしまい、母乳のため薬も飲めず、夜中まだ何回か授乳してた時。
- 子育てが大変つらいと思ったのは、自分が病気になったり、子どもが重い病気にかかったりして、育児に支障がでた時。我が家は、夫婦ともに実家が遠方で、両親の援助も望めないで、子どもの出産から約2年間、2人だけで何とか子育てをしてきた。私が病気になった時は、育児に支障をきたし、夫が会社を休む等して、何とか乗り越えてきた。
- 体調をくずした時。子どもは、ようしゃなく色々要求している。
- 最初につらいと思った事は、自分自身の体調が悪くなってしまった時。持病の腰痛(ギックリ腰)がひどくなり、全く動けなくなってしまった。その時は、実母が比較的近くに住んでいる為、全て母にお願い出来たが、もし、お願い出来ない状況にあったらと考えるととても不安になる。
- 主人と3人家族のため、助けをお願いする人が近くにいない。自分の体調がよくない時などは、とても大変に感じる。
- 病気をした時、どう対処していいか迷う事がある。
- 実家が遠いため、子どもが病気の時や自分の体調が優れない時の不安が大きい。近くに頼れる親類がいない。
- 自分の体調が優れなくても休めない。
- 自分が風邪をひいたり、具合が悪いときに子どもの世話をする時が一番辛い。
- 自分自身が病気のときの育児。
- 子ども、もしくは自分が病気になった時。
- 自分が病気の時、また引越しの時などに誰か1~2Hでもいいから、子どもを見ていてほしいと思っても気軽に預けることが出来ない時。
- つらい時は、自分の具合が悪い時でも育児をしなくてはならないので、風邪をひかないよう注意した。
- 自分の体調が優れない時。気軽に病院に行くことも出来ない。
- 私の実家が名古屋で、主人の実家が大阪な為、自分が病気になった時とかに、子どもを預けられず、困ったことがあった。早朝から預かってもらえる施設があったら助かる。子育ては大好きなので2人目も欲しいが、そういう問題が解決できないとふみこみにくい。

- 自分の体調が悪いとき、誰も頼りにできず、子ども（2人）と3人になるときがつらかった。近場に両親はいるものの仕事をしているため、そうたびたびは見てもらえず、主人も仕事を家に持ち帰ることも日常茶飯事。ベビーシッターは1時間3,000円と聞き、なかなか預けるといいうのも自分に許しがたくて…。

(2) 交通機関や道路、遊び場の問題(12件)

- ベビーカーで移動が多くなり、歩道を通る時に歩道が傾いているので、とても押しにくく大変である。できれば平らにしてほしいと常々思う。
- 駅構内に階段しかないところが多く、ベビーカーでの移動が大変（駅員さんで手伝ってくださる方はほとんどいない）。
- 交通機関で階段しかない所があり、ベビーカーで移動するには大変だった。
- 狭い道なのに車通りが激しい道を通らないといけな場所に住んでいるので、子どもが車にぶつからないか心配。
- 歩道に停めてある自転車が邪魔でベビーカーで通りづらい。子どもを歩かせても前後からくる自転車の人をよけるためにいちいち立ち止まらなくてはいけないし、危ないので迷惑な場所に停めてある自転車をもっと頻りに撤去してほしい。
- 公園で遊ばせたいと思っても、そこを家(?)のように使っている方が多いので、なかなか遊ばせることができない。
- 子どもを遊ばせる場に児童館がある。しかしこの児童館、未就学児は午前中の時間に限られているのがほとんどだ。子育て広場も利用するが、西片は急な坂の上であり、体調によっては行く事すらためられる。幼稚園を開放している所も、お弁当を食べたら解散か、お弁当を食べられる日にも限りがあるものばかり。隣接した千代田区、新宿区、豊島区には、幼児が一日過ごせる施設がある。
- 下の子が小さいときから上の子と2人を連れて遊びに行くところがあまりなく困った。
- 子どもが安全に遊べる場所を探すのが大変。
- 子どもが歩くようになって、家の中にいるより、外に出てお友達と遊ぶことが多くなったのは良いが、やはり、雨が降っていたり、これから冬になり寒くなってくるので、外出が困難。でも、だからと言って一日中家の中にいると泣くので天候によってつらいと思う事がある。
- 子どもとずっとふたりきりで家に閉じこもらざるをえない時（天気が悪くてお散歩に出られない。遊びに行ける場所がない）。
- 遊び場のこと。文京区の児童館は古い施設が多く、規定も多くて使いづらいので、私達は新宿区や豊島区の遊びやすい児童館をよく利用している。子どもがハイハイ～ヨチヨチ歩きくらいの頃は、公園にも行けず、曜日や時間を決められている児童館しか行けず、とても不自由だった。今でも夏休みなど大きい子どもたちが多い時期は、暗に“幼児は来ないで欲しい”という意味のポスターが貼られ、遊び場所に困る。

(3) 自分の時間がとれない・したいことができない(9件)

- 近所に家族がいなくて、子どもを預けられず、歯医者や美容院など自分の用事を済ますことがなかなかできない。
- 自分の時間がほとんど、とれなくなったことが一番つらい。どこへ行くにも子どもと一緒になので、時々自分一人の時間が欲しくなる。
- 辛いなぁと思ったのは、自分の時間がなかった事。2歳になった今でも自分の時間はほとんどないが、乳児の時は母乳の時間などがあり、なかなかゆっくり出かけられなかったが、最近は子どもと一緒に出かけられるようになり、だいぶ気持ちが楽になった。
- 当然の事だが、自分の時間がなくなる事。
- 日々成長する子どもとの時間はとても楽しいものだ。しかし、専業主婦は子どもと離れる時間がないのも現実だ。働いていれば通勤電車の中で本が読める。ランチだって一人で食べられる、と仕事の大変さはともかく、うらやましく感じることもさえる。
- 周りの人々からは、落ち着いて育児をしているように言われるが、私自身は全くそのように感じることはない。子どもに対してどう言ったら（褒めたら、叱ったら）いいのか、何を食べさせたらいいのか、ダメなのか、落ち着いて考える時間もないので、その都度できる事をやっているが、正直自信があってやっている事はあまりない。でも子どもは元気に育ってくれているので、寝顔を見てホッとしている。自分のストレスの軽減ということもあり、仕事を少しずつやっていきたいと考えているところだ。現在は子どものお昼寝の時に少しずつやっている。また、夫の休日があれば、夫にも子どもと1日遊んでもらい、私の時間にしてもらうよう協力してもらっているが、限界がある。急に依頼があり1～2週間程忙しくなるという感じなので、急な仕事でも一時的に子どもを預ってくれる

保育施設を探し始めているのだが、自分に合ったものが見つからない。子どもとして学ぶ事もたくさんあるので、保育園に預けるのではなく自分の時間をつくるために（仕事、買物など）サッと対応してくれるような場所をつい探してしまうが、病気や風邪の時でも緊急事態でも予約が必要との事で、子どもを預ける事は少しあきらめているところもあるが、子どもとやっていきたいと思う。

- 今でも大変と思うのは、一日中気が抜けないことである。少しでも一人で息抜きしたいと思う時がある。あとは、細かい悩みで（夜泣きや離乳食など）、同じ状況のお母さんなどと話せる場があれば、気が楽になる。
- たまには一人きりになりたいと思うことがある。いざ一人になると子どものことが気になって仕方ない。なんやかんや不平不満を聞いてくれるお友達（母、主人）がいるので、楽しみながら子育てしていると思う。
- 自由な一人の時間がまったくない。

(4) 相談相手や支援者がいない(8件)

- 自分一人で問題を抱え込んだ時、相談する相手（グチを言うだけでも）や時間がないと、辛くなる。
- 子どもが熱を出した時など外出できず、買物や家事など手伝ってくれる人がいないのが大変である。
- 仕事復帰する際に、一人で登録や手配をしたので、相談できる人がいなかった事。
- 自宅で絵を描く仕事をしている。出産までは体の変化に左右されていたが仕事はできていたのだが、出産してからはほとんどできなくなった。家での仕事なので出産後もできるものだと思っていたが、育児が生活のほとんどとなり、仕事をやる時間はほとんど・・・というかほぼできない状態になってしまった。妊娠中に子ども（赤ちゃん）をどうやってお世話するのか、育てていくのか、人から話を聞いたり本を読んだりなど自分なりに情報を集めていたのだが、いざ子どもが産まれて世話を始めてみると、本当に何から何まで自分一人でやらなければならない、想像よりもずっと大変だった。夫も毎日帰りは夜 12 時近くになるので、日常の中で一緒に子どもの世話をするという状況にはならず、1 日のほとんどの時間を子どもと 2 人で過ごす事になり、初め（出産してすぐ）はそれがとても辛く感じた。子どもは本当にかわいいのだが、辛い気持ちやイライラした気持ちは 1 日のうち何度かあり、今でもどうしたらいいのか、どうやってストレスを解消したらいいのか考えている。子どもは悪くないのにイライラして子どもに当たってしまう事もあり、後になって後悔しているが、その時は気持ちを止める事ができない。
- 辛いことは、1 人で子育てすることだと思う。核家族で夫の帰りが遅いと子どもとずっと 2 人きりで、何から何まで 1 人でしなければならぬのが大変。家族の協力は大事。昼間は、ピヨピヨ広場などへ行き、2 人きりの時間を減らし、気分転換をするようにしている。本当は、近所の児童館で過ごしたいが、乳幼児が遊べる安全な場所はほとんどなく、午前のみ使用とされているため、乳幼児の児童館難民がたくさんいる。
- 近くに頼れる人がなくて、ちょっと面倒を見てもらって用事をすませたり、ということが困難な時。
- 乳児のとき、急にどうしても外出しようと思っても、預ける人がいなかったために、主人に休みをとってもらったこともあったので、預けられる所があればいいと思った（ファミリーサポートは登録していないとだめだったので、急なものはできないとあきらめた）。
- 核家族で夫が仕事で帰宅が遅く、子育ての負担が自分（妻）にのしかかる時。

(5) 保育園・幼稚園のこと(7件)

- 保育園に入れるか不安。
- 学生だから、フルタイムの人より保育園入園、延長保育などの優先順位が低いとき（学生には有休がなく、経済的に厳しいにも関わらず）。
- 体を壊したため保育園への入園を申請したが、枠が限られており恒常的に付近の保育園を利用する事が難しいのが辛い。
- 保育園の問題。私のように出産前はパート勤務だった者は、出産を機に仕事を辞めざるを得ず、復職したくても出来ない状態にある。夫の収入だけでギリギリの生活を送っているのに、区立保育園はいっぱいで、保育料の高い私立の保育園をすすめられる。どこからそのお金を捻出できるというのか。私の周りにはいる区立保育園に入れている方々は、たいがい夫婦とも正社員で収入も高く保障もある。そんな人達ばかりではないと思うが、働きたくても働けないのに“専業主婦は気楽でいい”などと言われたり、区立保育園の待機の順番が後回しにされたりするのはひどいと思う。
- 保育園に入れるかどうかわからないとき。家から近い保育園に入れなくて、通いづらいと感じる保育園でも、入園できるだけでありがたいと思わなくてはいけないとき。
- 二人目を考えても、兄弟姉妹で別の保育園に通わなくてはいけない状況が当然だと知ったとき。
- 近くの幼稚園に入園させたいと思っているが、ここは 2 年保育。私立の幼稚園は 3 年保育だが、通園することを

考えると近所が一番だし、ここだと坂を登らずに通うことができる。区立幼稚園も 3 年保育の実施を検討してほしい。3 年保育にするのはすぐに無理なら、週 3 日でも午前中預かり保育を行ってほしい。

(6) 子育てに関する支援について(7 件)

- 気軽に預けることができず、病院に行くにもちょっと考えてしまうときがある。保育料の安い施設があると助かる。
- 仮に預けられても病気の時は迎えにいかなくてはならないので、病気でも預けられる施設が欲しい。
- 一時保育の問題。再就職のためにも大学や区の生涯学習講座などに通いたいとき、また 2 人目 3 人目を妊娠した時、自分が病気になった時など、一時保育の施設が充実していないと思う。あっても場所が遠い、保育料が高い、規定が厳しいなど、とても預けにくく感じる。
- 区の緊急一時預かりは、2 ヶ月前に登録が必要だという事で、急な発病には、対応できないし、民間のベビーシッターは費用がかかると聞いている。今は、まだ子ども一人なので何とか頑張れるように思うが、今後、第二子を考えた時、このまま何の支援もなしに子育てができるのか、とても不安である。特に出産前後に上の子が、確実に保育園等に入れるのか、産じょく期の育児、家事、自分自身の心身のケアについて、とても不安を覚える。
- 文京区には一時預かりできる施設が少ないと思う。シビックセンターのキッズルームも 3 時間を上限としているので、家からや目的地からの道のりを入れると 1~2 時間しか活動できない。場所、預け時間の選択がもっとできるようになると助かる。
- 専業主婦家庭では、保育園が特別な事情がなければ利用できず大変である。3 年以上間をあけるにも結婚年齢が高い(遅い)人にとっては、出産年齢も気がかりである。そのような事情から 2 人目をあきらめる人もいないかと思う。少子化に真剣に取り組むのであれば、子どものみならず、子育て当事者(専業主婦)の負担軽減も大きな課題であると思う。
- 出産後の産じょく時期のサポート(親の助けが求められない環境だったため)を手配するのが大変だった。出産後の大きな不安の 1 つだった。核家族化が進んでいるため、私のような環境の人は、たくさんいる。夫婦 2 人で産じょく期を乗り越えるのは、大変なことなので、福祉サービスや区の行政サービスを行って欲しい。もちろん有料で OK。

(7) 出産後しばらくの間(5 件)

- 出産してから 3 ヶ月健診までが、とにかく大変で全てにおいてつらかった。何もかも初めてな上に体調も良くないので、ノイローゼになった。私は、実家が近かったため、話し相手がいたから乗り越えられた。健診の時に児童館や図書館のイベントを知り参加。そして友人もできて気が楽になった。出産して 1 ヶ月、できれば、出産直前くらいの方に案内をするようにすると精神的に助けてあげられると思う。私ももっと早く参加したかった。
- 産まれてみないと、どんなタイプの赤ちゃんかわからないので、最初は行き当たりばったりで毎日が大変。特に産後明けの夜泣きは体力的にしんどかった。自分が具合が悪くなくても赤ちゃんのおむつや授乳は定期的にはやらないといけないので、疲労がたまる一方だったし、赤ちゃんは具合が悪いと甘えて抱っこばかり求めるので、腰は常に痛む日々…。人見知り時期は誰を見ても泣くので、皆に謝りっぱなしでした。
- 子育てが大変だったのは、生まれて 10 ヶ月くらいまで。夜泣きで寝不足が続いた。
- 夜泣き、泣き止まない時。子どもと二人っきりで誰とも話さない日がある時。
- 新生児の時は、ちょっとしたことが気になり不安だったが、すぐ近くに相談できる人がいたので助かった。

(8) 経済的な負担(5 件)

- 病院の出産費用の高額さ。50 万円かかった。
- 経済的な事が大変。これから大きくなるにつれ、もっとお金がかかるので、頭を悩ませている。
- 私は文京区に越してきたとき、不妊治療をしていた。当時まだ補助金等もなく、経済的にも体力・肉体的にも相当追い詰められていたので、断念をした。その時、自分の心の整理をつけるため、自分自身に言い訳して「こんなに『お受験熱』の高い区で子どもなんかできて苦勞するだけだ」と思っていた。それから 1 年後くらいに、奇的に子どもを授かったが、その心配は今現在も引きずっている。もちろん今はそんな先の話よりもっと身近な問題がある。
- まだ小さいうちは、粉ミルク、紙パンツ、紙おむつ等、かさばる物、重い物が 2 人分一緒に必要であり、買物も大変だし、金額も一気に高額出費で大変。
- 医療費の事。せめて小学生までは無料化して欲しいと思う。

(9) 仕事と子育ての両立(5件)

- 仕事を休む事が難しい時。子どもが風邪をひいていてお世話を頼める人がいない状況の時(身内が近くに住んでいないため)。
- 仕事との両立。自分は家事、育児、仕事、全てをきちんとするのが当然と思われる事。
- 保育園は夕方まで見てもらえるが、小学校に上がったなら自分で児童館へ行くか、高学年になるとそれも終わる。一方会社は概ね「子どもが小学校に上がるまで」は時間減もあるが、小学校に上がるとなくなるので、両立は困難になりそう。
- 仕事と育児のバランス。
- 心配なのは、仕事復帰後の両立。大変そうだ。保育園等の預けられる施設は空きがないと聞く。もっと枠を増やして欲しい。

(10) 周囲の理解がない(5件)

- 駅にせっかくエレベーターが設置されていても、若い方や健康そうな方々がたくさん乗り、ベビーカーだと乗れず、次が来るまで待つことになることが多い(嫌な顔をされることもあるが、優先して下さる方は滅多にいない)。
- 街で出会う人々の意地悪な言葉や態度(ベビーカーを邪魔そうにしたり、露骨に嫌な顔をされる。勿論、優しい言葉をかけてもらうときもあるが)。
- 少し混み始めた電車やバスにベビーカーで乗れないのも大変である。荷物が大きい上に子どもを抱えてベビーカーを持つのは体力的に厳しい。たまに「狭いんだから乗るな」みたいなことを言われることもあり、悪いことをしていないのに肩身の狭い思いをすることもある。
- 隣近所の理解。
- 子連れの外出。子どもがさわいだときに白い目で見られるときなど。外食にも行きづらい。

(11) 2人目を産むこと(4件)

- 下の子を産むとき、臨月近くになり上の子の面倒を見るのが大変で、産前産後預けられる保育サービスを利用しようと思ったが、空きがなく利用できなかった。
- 現在第2子を懐妊中。主人、私の両親共に60歳を越えているが仕事を持っているため里帰りもマンパワー不足で意味がない。そこで第1子の保育園入園で対処しようと考えたが、現実には厳しいものだった。区立保育園、認可保育園共に待機の状態、受け入れがない。フルタイムで働く人に比べ、出産は入園条件としての点数も低く、可能性はさらに低いものとなっている。少子化対策は働くママのためのもの?と疑問を抱かずにはいられない。専業主婦でも子どもを育てる、産むことにかわりはない。出産の時期だけでもサポートしてもらえるシステムが欲しいと思う。
- 現在は子どもが一人なので何とかなると思うが、2人目を産むことは慎重になってしまう。
- 子どもを産む決心については、1人目は仕事の状況で決めた。2人目は、どうしようか悩み中。妊娠すると自分の体調だけでも大変なのに育児も休めないと思うと、なかなか産む決心がつかない。シビックのキッズコーナーがもっと使いやすくなれば、もう少し安心して踏み切れると思う。

(12) 情報の取捨選択(4件)

- 今は、いろいろな情報が手に入る時代。その中で、どの情報を自分の子育ての中に上手く取り入れていくかというのが難しいと思う。子どもを育てるということは、決して楽な事ではなく、毎日、毎日がこれでいいのかと考え、悩みながら子育てしている。自分も一緒に毎日成長しているような気がする。
- 初めての経験なので最初は何かから何まで大変だった。今は育児に関して色々な情報があるが、情報がありすぎて迷ってしまうときもあった。両家の母には事情があり子どもの世話を頼めなく、主人は自営業なので朝から夜中過ぎまで仕事なので、本当に一人で子育てをしている状態だった。
- 100人いれば100の意見・アドバイスがあるので、初めは自分がどれを選ぶかに悩んだ。
- 病院の情報。
- 利用出来るサービスがあっても情報が人から教えられる事が多く、使いたい時にすぐ利用できず大変だった。

(13)子どもが病気の時(3件)

- 風邪等、1人が体調が悪いと、まだ小さいので一日中私(母)にへばりつき、何もできないし、他の2人のこともあり、大変だ。
- 休日等に小児科などが近くにない場合などは、非常に困る。言葉が出来ない時期の子どもの病気は、親にとって一番の不安事である。
- つらいのはやはり赤ちゃんが風邪をひいて息苦しそうにしていたり、吐いてしまいぐったりしている姿を自分がみることしかできないときかな。

(14)大変・つらいと思ったことはない(3件)

- あまり子育てで辛いと思ったことはない。主人が育児に協力的なので、家族一緒に楽しみながら子育てしている。ある程度、旦那様も育児に協力すれば、神経質になるお母さん方も色んな負担が軽減されるのではないだろうか。
- 子育ては大変そうと感じた事はあまりないように思う。確かに体力的には疲れたりして一日休みたいと感じるときもあるが、子どもといると、野菜を多く摂ろう、明日も早いからと、夜遅くまで起きることも少なくなった。でも子どもを持って近頃感じることは、「子育てって大変でしょう?」と言われる事(周りの人、近所の人)。その言葉を聞くと「はあ〜」と逆に疲れてしまう。「子育てって楽しいでしょう!!」この言葉だと「楽しい〜」と元気になると思ってみたり。メディアでも「子育てって楽しい」というニュースばかりだと、人間は単純なので、世間もそうなっていくのでは、とふと思う。
- 現在は育休中なので、子どもと向き合うのは苦ではない。

(15)離乳食を食べてくれない(2件)

- 育てて、はじめて直面する問題は、私は、完全母乳で育てており、6ヶ月過ぎから離乳食を始めたが、なかなか食べてくれない、これでいいのか〜と悩んだ。でも、いずれは食べるようになる。今は、2歳。まだ、母乳を飲んでくれるが、食事もわりと食べてくれる。
- 離乳食や食事を食べてくれなかった時。

(16)ほかのことができない(2件)

- 家事との両立。
- 2歳をすぎ昼寝をしない事が多くなり、最低限のことをするのが精一杯だ。もう少し時間があれば、掃除や片付けをしたい。

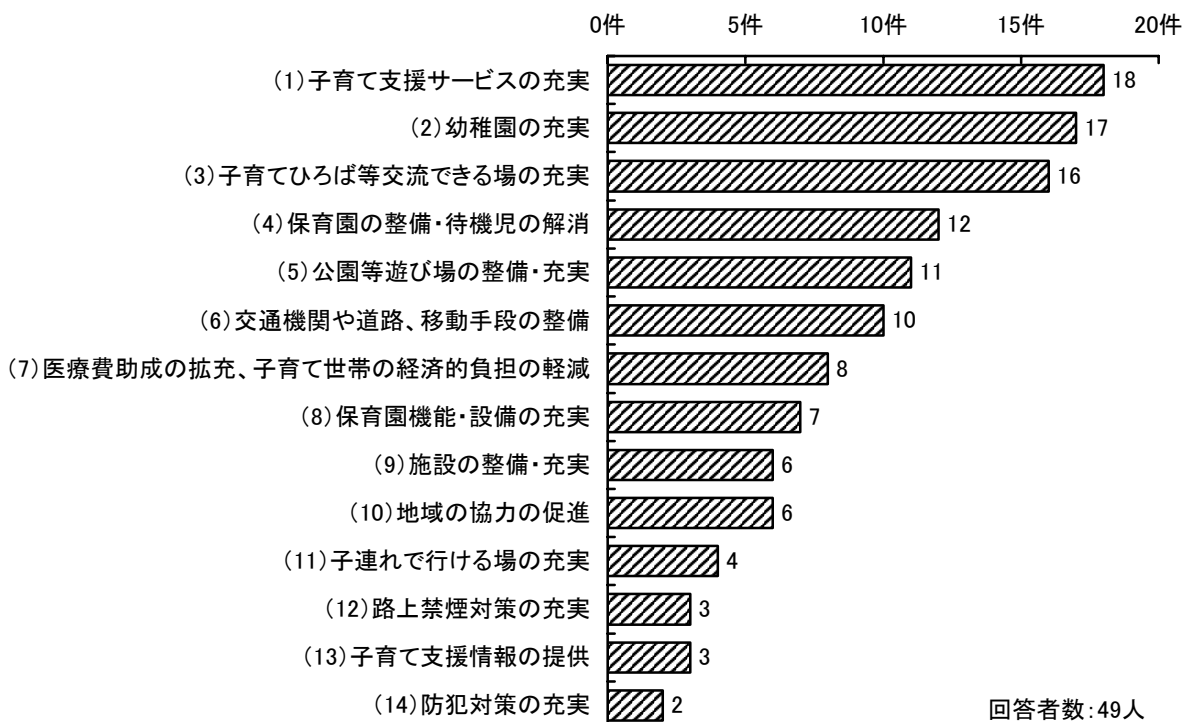
(17)区への対応(2件)

- 近年では核家族が増えてきているのに、区への対応はできてなさすぎると思う。私は2人目がおなかの中にいる時に文京区に引っ越してきた。家は、主人も私も実家が沖縄、千葉と遠いため、あまり手伝いにこれる状況ではないので、せめて風邪をひいた時にでも子どもを見てくれたりするところはないかなと思い、2人目を出産して出生届を出すのに区役所に行った時の事。まず区の職員の何人かに「こんな小さい子どもなのに外に連れて歩いて!」と言われた。来たくて来ているわけではないし、どうしてそんな言い方を区の方に言われなければならないのか疑問だった。その後、風邪の時に見てくれるようなものはないかを聞いたところ、風邪になって初めて預ってくれる施設に行き、登録手続きを踏む、といった内容のものを聞かされた。子どもがいて具合が悪いのに、どうやってその場まで行く元気があるのか、そんなに動く元気があるのならわざわざ預けない!!産んだ後というのはガクッと体力が落ちるので、実家に頼れない人は必ず産後何回も動けないくらいの深刻な病気になる。産後うつにもなりやすいし、周りに頼れる人がいないならなおさらだ。1時間でもいいから家に来て子どもの面倒を見てくれた事で救われる事もある。区の方たちの対応の悪さに正直びっくりした。関心がないというか、そういうところから改善しなければよくならないのでは?この話を保健師さんにしたところ、とても対応よく答えて聞いて下さって、下の人の声は区長にまで届かない、という事も言っていた。もっともっと言いたい事はたくさんある。形だけでなく行動に出してほしい。
- 子育てを祖父母が手伝ってくれるのが当然という対応をされたとき(子どもが病気の時、保育園のお迎えが遅くなる時など、うちは実家が遠方で手伝ってもらうのは困難)。

(18)その他

- 第1子の幼稚園へのお迎え(14時)のとき、第2子と3子は昼寝の時間で、(ほぼ毎日)誰もいなくなる家に寝ている2人を置いて、ダッシュで往復するのが大変。そして第1子が友達のうち遊びにいくと約束している日など、泣きたくなる。寝ていた2人が戻る前に起きて泣いていたこともしばしばあり、トラウマにならないか心配している。
- 引っ越してすぐの妊娠だったため、病院を探すのに少し苦労した。
- 子どもの成長が遅いのではないかと、どこか悪いのではないかと、不安な時。
- 年子で下の子どもは1ヶ月なので今はよいが、これから先は大変。いろいろな事を考えてしまう。また、今は働けないが、父親がお店を一人でやっているので手伝いたいと思うが、今のままでは不安である。今預けている子どもを半年後も預かってもらえれば、大変幸せと思う。
- 子育てはなるべく若いうちにと、今3人いてつくづく体力的(自分の)に感じている。
- 社会からとりのこされていると感じる時。
- 夫婦2人で出かける機会が全くもてないとき。
- 子どもを出産するまでは、無事に産まれれば“ゴール”のような気持ちがあり、そこから大変な事が“スタート”するとは考える余裕がなかった。今、娘は、2歳9ヶ月になり、だいぶ楽になったが、2人目を産む予定はない。子どもは嫌いではないが、かわいいと思えるのは、自分自身の精神状態がベストの時、病気の時看病していて、もし、自分が妊娠していたり、下の子がいたら自分でやる自信がない。自分の年齢を考えると体力的にも自信がない。近所に児童館、公園もあり、恵まれているが外出(電車に乗って)は、子連れは大変だ。

2. 子育てしやすいマチにするためにはどうしたらよいと思いますか？



(1) 子育て支援サービスの充実(18件)

- 病気の時など、家事を手伝ってくれるヘルパーさんが利用できるようになれば有難い。
- 病児保育ルームを利用している。病気回復期にとっても助かる。もっと増やしていただくと需要が高まると思う。
- 病児保育のできる保育園を増やしてほしい。
- 公的補助はベビーシッターさんなどを利用しやすくしていただけたら、と思う。
- 近くの幼稚園や保育園に一時保育の枠があるといいなと、どうしても思ってしまう。
- 子どもを気軽に預けられる場所の設置（例えば、全ての保育園で一時預かりをするなど）。
- 一時預かりについて（一度も利用した事はないが）、もう少し低料金で預ける事が出来るとうれしい。
- ふみちゃんのおうちは、3時間→4時間利用できるように変更して欲しい。3時間では、髪の毛を切りにも行けない。
- 一時預かり保育の休日への対応（月～金の勤務の人だけでなく、不定休勤めの人もいるので休日も預かってくれるとありがたい）。
- 育児の支援を増やしてほしい（これが一番の願いである）。これは、他のお母さん達とも話題になるが、シビックの一時預かりが使いづらい。預けたい時は、「美容院」「通院」という方が多い。でも「3時間だと足りないから預けられない」と皆さん口をそろえて言っている。「それなら目白に」と思われるかもしれないが、実際、子どもを連れていっただけで大変。仕方なくベビーシッターに頼む方も多い。せめてあと1時間延ばしてほしい。私も2人目を考えるにあたり、通院がすごく心配である。予約制でない所も多いので、あと1時間は、預かっていただくと間に合うと思う。あと3日前からの予約だが、せめて前日（できれば当日）とかにしてほしい。子どもは、夜泣きがつきもの。「1時間でも休みたい」ということがよくあるが、3日前からだと思えない。当日または前日なら利用しようと思う。よくびよびよ広場に行くが、いつもキッズルームは空いていてもったいない。「できれば一時預かりと1日預かりとの選択制、無理ならもう少し長く預かってほしい。あとは、1回3時間10日ではなく、1ヶ月30時間という規定にするとか。予約は、せめて前日まで受け付けてほしい。」これが、他のお母さん達とも一致する意見である。
- 子どもを預けるのに料金が高い。3時間で2,500円もかかると気軽に預けるのは、無理だと思う。
- 区役所のキッズルームを少し大きくして、6ヶ月くらいから預かってくれるととてもありがたい。
- 病児保育、ベビーシッター、一時預かりなどの充実。

- 子どもの一時保育や保育ママなどの制度があるが、事前に予約、登録が必要なので、急に今すぐ預って欲しい時にどこにもそういう場所がないので困る時がある。
- 地域センターの職員の方には申し訳ないが、一日中暇そうにしている方がいるのなら（そう見える）、一時預かり的なことをしてもらえるとありがたい。
- 過日、突然送られてきた子育てアシスト文京おかいもの券、とても助かった。今後も定期的に（年に何回か）続けて欲しい。
- 電車に乗って外出する時、サポートしてくれるボランティアがあれば、子連れでの外出が楽しくなる。自分が買い物している時、近くの公園で1時間ほど遊ばせてくれるなど・・・。
- 0歳児の施設がとても少ないみたいで、しかも料金が高いので、あずけたくても中々入れられないのが現状みたいなので、もっともっと補助金を増やしてもらえれば、出産をしようとする人も出てくると思う。少子化現象が、問題になっている今、真剣に考えて行かないと大変な事になると思う。

(2) 幼稚園の充実(17件)

- 幼稚園は、地元（近く）が良いのだが、抽選でなくなると良い。勉強のためだけでなく、身体作りもあるので、日当たりもよく、園庭で遊べるのがよい。
- 3年保育が主流の現在、区立の幼稚園は、2年の所が多い事がとても不思議である。それに加えて、3年幼稚園でも（小日向台町幼稚園）、入園出来る人数が少なく抽選、ほとんどが兄弟（姉妹）枠で埋まってしまうというのは、疑問に思う。区立ならば、希望すれば確実に入園できる制度に是非してほしい。
- 区立の幼稚園、是非3年保育にしてほしい。
- 公立の3年保育の幼稚園を増やしてほしい。
- 春日の付近では3年保育の幼稚園が少ないと思う。
- 公立幼稚園は2年保育なので近所であっても3年保育を希望しているので、残念。平日、入園前の子ども達に開放していただいて、楽しく遊ばせてもらっている。
- 幼稚園は、もっと区立を増やしてほしい。できれば3年保育のものがいい。
- ぜひ区立幼稚園の3年制の充実公的補助を。少しずつマンションも建設されているので、子どもの数が増加してきているように感じるので検討してほしい。
- 区立の幼稚園が3年保育でたくさんあるといい。倍率が高く入園させるのが困難な上、選択肢が少ない。保育園もなかなか入れないと聞き、民間の保育園は保育料も高いので困る。もう少し安価の保育料で、気軽に預けられる施設がたくさんあると助かる。
- 幼稚園、保育園とも、その場所により入園できる子どもの年齢がまちまちなので、全部同じにしてくれたらいいと思う。家の近くに入園させたい良い幼稚園があっても、2年保育、3年保育などの理由で行けなくなってしまっている。
- 区立幼稚園の保育内容を充実させ（特色を持たせ）、私立と比較できるくらいにしてほしい。また、保育時間終了後も一部私立のように有料でも預かり保育や課外保育（英語や体操等）を実施してほしい。
- 幼稚園入園で仕事を持つことを考える主婦も多いが、幼稚園は受け入れ時間が短く、就職は現実的ではない。幼稚園に延長保育を設ける事で、保育園か幼稚園かの選択も広がり、保育園への児童の集中も緩和できるのではないだろうか。
- 地方のように、14時降園という中途半端な時間ではなく、16時～17時まで預って欲しい。
- 私立と区立幼稚園の保育料の差が大きいので、私立にもっと公的補助をしてほしい。
- 幼稚園など、園庭を開放して下さる所が多く、とても良いことだと思う。
- 幼稚園の未就園児開放はとても助かっている。公園は人がいないことが多く、安心して遊べる環境ではないこともあり、幼稚園をよく利用している。
- 今、子どもが遊びに行っている幼稚園では、園内で菜園をしたり、動物を飼ったりと、とてもいい経験ができている幼稚園だと感じている。

(3) 子育てひろば等交流できる場の充実(16件)

- ぴよぴよ広場のような衛生的で子どもが楽しく遊べて、母親同士も気分転換できる場所がたくさんあると嬉しい。ただ、1歳過ぎて歩くようになると、ぴよぴよ広場では充分遊べないので、もう少し広々と遊べる場所をつくって頂きたい。又、土日雨の場合の遊び場がないので、土日でも使用できると嬉しい。

- ぴよぴよ広場はとてもよいので、各地域に同じような施設が出来るとよい。
- ぴよぴよ広場のような施設の充実。ウレタンマットやすべり台等の遊具も設置し、プレイスペースがあるとよい(子どもが身体を動かして遊べるとよい)。
- 子育て広場、ぴよぴよも、もう少し広くスペースをとり、交流の場を持ちたい。そこで母親たちが学べる事も大切だ。そして具体的に訓練を受けた人がまた地域の子育てママとして、託児のサポートをしたり、相談にのる、遊びの提案など、社会にも参加出来ると嬉しい。
- 児童館や図書館以外にも親子で集える場があるといい。土曜日の過ごし方に結構困っていたりする。
- 児童館に乳幼児の部屋を設置して欲しい。現在児童館には、乳幼児を遊ばせる清潔で安全な部屋はなく、AMのみ使用となっているため、利用できない。AMは、家事等で外出できず、結局遠くにあるぴよぴよ広場まで通っている。あるいは、小学校などの空教室を利用するなど。
- 午前中は、児童館や幼稚園など遊ぶところはあるのに午後はほとんどなく、あっても3時、4時で終わってしまうので、5時半くらいまで遊べる場所がほしい。できれば、体育館ぐらいの広さがあって、滑り台など遊具がある室内があったら良いと思う。晴れていれば公園などに行くので、天気の良い時、午後からの遊び場所が全くないのが今の現状だと思う。
- 育児中の人達が集まる場や機会を増やす。他の区よりも児童館でのイベントが少ない気がする。リトミックや触れ合って遊ぶイベントが毎週ある児童館が増えたら嬉しい。ぴよぴよ広場がもう少し広い、または、ねんねの子と走り回れる子が分かれて遊べるスペースを作ってもらえると良いと思う。外遊びを安心してできる場が少なく、みんな悩んでいる。どこか建物の屋上とかにお庭でもできて、シビックみたくにオートロックがあれば、安全面、衛生面(犬のフンとか)も安心である。
- 幼稚園の園庭や児童館をよく利用している。大変助かっているのだが、夏休みなどの長期の休みの間や土日は利用できなかったり、児童館は学童保育が始まると、私のような1~2歳児を連れた親子は利用できない事がある。「小学生が来る事で幼児は安全に遊べない」という理由で入館を断られる事もある。色々な子どもや親子が安心して長時間利用できる(できれば安価で)施設があると本当に助かる。
- 区役所内ぴよぴよ広場に行くための手段がバスしかなく、そのためにたまにしか行けない。児童館の「0歳児あつまれ!」も週1の午前中だけなので、子どもの朝のお昼寝にぶつかったり、家事をしているうちに終わってしまったりでなかなか参加できずにいる。ぴよぴよのような施設をもっと各所に作ってほしい。子育てアシスト券も、豊島区に近い我が家は、ベビー用品を池袋で買うので活用できていない。金券よりも施設を充実させてほしい。もしくは、図書カードやクオカードのようなどこでも使える金券にしていただけると嬉しい。
- ぴよぴよ広場は0~3歳向けなのに狭く、動けるようになってくると遊びに行けない。シビックセンターの中に幼稚園前の子どもが遊べるスペースがあればいいと思う(例えば、空中庭園前のベンチのスペースの隅に室内のおすべりなどの遊具を置くなど)。
- 児童館等の場はとても素晴らしいと思う。こういったところにボランティアでいらなくなった(自宅での)玩具を提供すればいいと考えるが、受け入れの対策がまだされていないようだ。
- 文京区ママ達の現状。「最近どこで遊んでるの?」幼稚園入園までの子どもと初めて外に出て、そろそろ他のママ達と育児についての情報交換をしたいと思う大切な時期である。その頃に、子どもを連れて行っても良いなと思える所は、シビックセンターのぴよぴよ広場くらい。でも、スペースは狭いし、混んでいて、2歳くらいの子供達も走り回っていて、わざわざ行きたくなくなる程ではない。他のママとゆっくり子育てについて語れて、0歳児も赤ちゃんも静かにお昼寝できる広いスペースがある施設があればなあと思う。次に1歳児からは、ハイハイやヨチヨチ歩きが始まる。児童館はどこも床が汚いので、ハイハイは無理だと感じる。しかも小学校の終る頃に学童の子ども達も来るので、1歳児の遊び場はなくなり、帰らざるをえなくなる。西方の子育てひろばは、終園が3時なのでもう少し、延ばして欲しいし、施設を新しくして欲しいと感じる。という事で、文京区のママ達の中には、少しでも安全で、安心、きれいで落ち着ける場所を求めて、他区の施設にまで足を運ぶ人が少なくない。新宿区、豊島区、千代田区等の施設は、前述の項目をほとんど満たし、子育て支援の場として、とてもよく機能しているように思う。しかし、最近では他区からの受け入れに差別化を図る所が出てきている。遊び場とは、単なる子どもを遊ばせるだけの場ではなく、育児に行き詰ったママ達の息抜きの場であったり、大切な育児情報の交換の場でもある。文京区にも、良い施設はあると思うが、本当に充実していれば、わざわざ遠い他区にまで足を運ぶママ達は、いないと思う。今ある現状の施設をもう一度見直して、他区に負けない子育て支援の場をママ達の声も取り入れて作ってほしい。
- 公的補助があればあるだけ助かるが、無料の親子体操教育やリトミック教室などをやってくれるといい。幼稚園や児童館でもやっているが場所が狭いので、広い会場などで月1回でもしてくれると他のお母さんや子ども達と知り合えていいと思う。
- 今年の9月から、児童館のなかよし体操と後楽幼稚園のなかよし広場を利用している。両方とも毎日実施してく

ださっており、子どもも楽しく過ごしており、なによりも母親同士の付き合いが広がることに喜んでいる。

- 小さい子が参加できる集まりなどの情報や公的な場での主催。同じような人達と知り合えれば話もできて立場を共有できる。

(4) 保育園の整備・待機児の解消(12件)

- 少子化といいながら、保育園の待機児童が多すぎる。枠をもっと増やせないのか。
- 保育園入園枠を増やし、核家族世帯の子育ての負担を軽減してほしい。
- 区立の保育園に入れていないので、認証保育所を利用しているが、料金面と交通の便が悪いので、できれば待機児童を解消してほしい。
- 保育園は待機児童がいなくなるよう、また、出産などの短期の預け入れに対応できるよう、施設の拡充を望む。
- 保育園の待機児童を減らしてほしい。
- 保育園の受入数及び延長枠を増やしてほしい。
- 駅に近い保育園がもっと増えれば便利。
- 駅周辺にもっと保育園をつくり（または民間保育園を誘致し）、働く親の送迎をしやすくする。
- 保育園を増やす。定員を増やす。
- 保育園について、100%入園出来る事が理想である。
- 待機児童ゼロへの工夫（大型のマンションも増加しているので、今後待機児童が増加すると思われる）。
- 保育園を増やしたり、幼稚園の延長をしたりはどうか。

(5) 公園等遊び場の整備・充実(11件)

- 子育て広場、児童館等遊べる場所があり助かった。でも、外での遊びとなると公園が小さく遊具が少ないのが残念。
- 他の地域に比べて公園の汚さが、目につく。私は、わざわざ車で別地域の公園に行っている。
- 近くの江戸川公園にある砂場であそんでいるとうんちのような、おしっこのような臭いが強くした。他のお母さん達もそのような話をしていた。日光があたっていたので（砂場）それで強く感じたのだと思う。夜になると野良ねこがトイレがわりに使っているらしい。子どもが砂場で遊ぶので、それ以来砂場遊びはやめた。他の公園（家からは遠い）では、砂場にネットをはっている公園があった。やはり、子どもを遊ばせられるいい環境を整えてほしい。
- 公園内の見まわりを昼間でもしてほしい（遊具の上で寝ている人やお酒を飲んでいる人がいると子どもを遊ばせられないので）。
- 公園の砂場の衛生管理をしてほしい（ネットが張ってあってもあまり効果がないので）。
- 公園の遊具が比較的小学生、幼稚園児向けのもが多く、小さい子が遊べるものが少ない。
- 子供とお母さんが安心して遊べる公園がほしい。ぴよぴよみたいに登録した人しか入れないようにして、多少お金を払ってもいいと思っている。
- 子連れで安心して行ける公園（ホームレス対策した）や、商業施設（映画館や子供用品店）、また使いやすい児童館を増やしていただくと、もっと子育てしやすいまちになるのではないだろうか。
- 公園は雑草が生えっぱなしになっていたり、ホームレスがいたりして、安全に遊ばせられない。遊具の数も少なすぎる。公園の数は多いのに、安心して遊べる所が少ない。
- 子どもが遊びやすい公園を整備する。
- できれば土日にも遊べる場所（雨に関係なく）室内があればいいと思う。雨の日はどこにでかけてよいやら。力がありあまっている。

(6) 交通機関や道路、移動手段の整備(10件)

- 水道端図書館前の道路の傾斜がきつく、ベビーカーはもちろん子どもも歩きづらそう。
- 最寄駅「江戸川橋駅」のエレベーター設置が中止になりとても残念。子連れでも駅使用がとても苦痛である。これは、子どもにも大人（高齢者）にも優しい街に必要な条件だと思う。
- 東池袋の駅にエレベーターがないのでとても不便。
- 江戸川橋の駅を利用している。役所のカだけではどうにもならない事は承知しているが、エレベーター設置のために何か働きかけをしていただけたら、と思う。子連れだけでなくお年寄りの方にもやさしい町であるために、必要

なものだと思う。

- 駅にエレベーターの設置がなく困る場合がある（例：江戸川橋）。このような駅は区で出資してでも設置すべきではないだろうか。子連れと高齢者が利用しやすくなる。
- 町について。子どもを連れて歩いていると、一人で歩いていた時には気付かなかった多くのことに気付かされる。ベビーカーは道路の段差でつまずき、放置自転車にはばまれる。この放置自転車、文京区は本当に放置しすぎだと思う。豊島区は池袋、目白駅が全国ワースト 1 位になったためか、シルバーボランティアの方を中心に連日撤去し、駐輪場を営み、現在は本当にすっきりした町に変わった。文京区もこれに倣うべきだと思う。
- 銀行や店など段差をなるべくなくす。
- 道ではよく自動車に直面する。
- 都営バスが走っていないような順路に区内の主要箇所（区役所、公園、病院等）を巡回するバスがあれば助かると思う。
- 文京区も他区のように園バスを走らせてほしい。

(7) 医療費助成の拡充、子育て世帯の経済的負担の軽減(8 件)

- 医療助成の対象を小学生まで引き上げて欲しい。
- 区内でも多くの区で医療費の助成を改正している。中学 3 年生まで医療費のかからない区もあるほどだ。文京区も改正を望む。特に歯は定期健診にかかるお金もバカにならない。大きな意味で医療費削減にもつながるよう、せめて健診費などは無料にして欲しい。
- 医療費助成期間の中学卒業までの延長。
- 医療費を小学 6 年生まで無料にして欲しい。
- 子育ては、非常に精神的にも大変である。特に子どもが病気になった場合は、大きな心配もある上、仕事の都合をつけなければならないなど、多くの困難を伴う。その上に、医療費は経済的、更に精神的負担となっている。是非、中学卒業時までの医療費の公的負担を希望する。
- 妊婦健診に保険がきくようになってほしい。
- せっかく「文京区おかいもの券」が支給されても、子育てに関係ない物を買うために使えてしまうため、地元商店街の地域振興に貢献するためのものという感がある。それならば、子育て世帯を直接減税した方がいいのではないか。
- 育休で保育園に入れず、民間の託児所にやむを得ず預けなくてはいけない人のために、せめて月に 5000~1 万円の補助をしてほしい。

(8) 保育園機能・設備の充実(7 件)

- 保育園は、親から離れて多くの子どもと時間を過ごすという意味で、非常に有意義な時間であると思う。また、親が他の事を行なう上で時間を作ることも出来る。この様な意味で非常に大切である。一方、共働き家庭等でなければ、常時利用出来ない事は、非常に残念である。もう少し、小規模で数が多く地域に根ざしている事が理想と考える。
- 公立保育園でも土曜日預かりを行って欲しい（有料でもよいので）。現在は、土曜日勤務の方などの利用のみになっている。同じく、延長保育も、事前契約者以外も臨時的に利用できるようになるといい。
- 保育園の施設を新しくきれいなものにする。
- 区立保育園の先生にゆとりがほしい（担任の先生は忙しすぎて、実際に子どもに関わっているのは非常勤の先生の方が多いように感じる）。
- 仕事復帰予定で育休中だが、上の子は保育園に行っている。上の子がいるときは彼が最優先になり下の子はほっておかれることが多かったり、自分の体調が悪い時に保育園は助かっている。生活のメリハリや対人関係を築く上でも良いと思う。
- 今、保育園に通っているが、大変良い環境で良いと思う。

(9) 施設の整備・充実(6 件)

- ~私が望む子育て支援のための公的施設~以下の項目にあてはまる施設を文京区在住者が、自転車、バギー、バス等で行ける場所に 2~3 ヶ所設置する。①幼児期（0~1 歳）、2 歳以上の幼児、小学生以上の子どもと年齢別の部屋を設置。②ハイハイ等するので、乳幼児が遊べる清潔で安全な部屋づくりとおもちゃの設置。③冷暖房、オム

ツ換え、授乳室、ミルクを作れる設備、昼食ができる施設、乳幼児用ベッドの設置等の環境充実。④自転車、バギー置き場の充実。⑤施設そのものが、子育て支援の場として機能し、レクリエーションやセミナー開催を企画し、情報発信の場となる。⑥子育てについて相談にのれるカウンセラーを常時置いて、育児相談ができる場を作る。⑦緊急時の子どもの一時的預かりを、当日でも受け入れてできるよう実施。⑧子ども達が外遊びできるよう、野外に遊具、砂場、水遊び施設を作る。⑨1歳児、2歳児対象の育児サークルをつくる。⑩母親達によるイベントや催し物の運営における活動の場の提供。⑪施設は、年中無休で、どの区の人でも使用できる。

- 上と下が2歳しか離れていないので、2人を連れて遊びに行くことになるが、公的な施設でもトイレの整備がされてなかったり、遊ぶところが限られてしまう。児童館のトイレに補助便座もないのは、おかしいと思う（できればベビーキープもほしい）。
- 児童館や保健センター等、子どもの集まる施設をもっと明るい雰囲気、きれいにしてほしい。
- 本郷保健センターの場所が遠いし不便なので、もう少し便の良いところに移ってほしい。
- 公的な証明書等を発行してくれる出張所を復活させてほしい。
- 乳児健診や歯科健診を受ける保健センターを選ばせてほしい（せめて、初回に選び、その後は同じでもいいので）。
- 区営のプールを作してほしい。

(10) 地域の協力の促進(6件)

- 地域のおじさん、おばさんなど声かけをしてくださると助かる事（気分が楽になる）があるので、お母さんからも積極的に話しかけるのが良いと思う。子どもの遊び場に時間のある地域の人が入れる場があればいいと思う。安全管理の面で難しいかと思うが・・・。
- 各町内会で、幼児対象だけではなく、乳児も対象にした催しも行ってほしい。母子で一番孤独な時期が就園前の時期なので。
- 現在私もマンション住まいで、居住者、また近隣の方との接点がほとんどない。幼稚園や保育園をもっと地域に開放して人を集めたり、園のボランティア活動などで地域に密着させていくとよいのではないだろうか。
- 世間ではいかに長く保育をしてくれるところが（預り保育）いいと言われているようだが、本当にそうなのか。疑問に思う。もちろん経済的な事もあるが、家族のつながりが希薄になっている今、「みんなで家に早く帰って家族団らんしようよ！！」と思うのである。「手作りの料理を食べようよ」と思うのである。地域でお父さんの交流会、おじいちゃん、おばあちゃん、子ども達の交流会、使用されていない児童公園を菜園にしたり、おいも掘りをできたりしたら、とっても楽しそうではないかと思う。埼玉などでは保育園とご老人の施設が一緒になり、子ども達とご老人達の交流の場がある。もちろん様々な問題もあると思われるが、文京区にはご老人の方々も多くいらっしゃる。おじいちゃん、おばあちゃんからわらべ歌を教えてもらったり、子ども達は肩を揉んであげたりなどなど、お互いが生きる力といたわりの心が学べるのではないかと思う。現代の子ども達は与えられるものが多すぎて、もちろん当たり前のようにもなっている。心が置き去りにならないように、将来自分からご老人や障害を持った方々に手をさしのべられるような、やさしい大人になれるように、小さな頃からの経験が大切なのではないだろうか。
*おじいちゃん、おばあちゃんは（自分たちの）何か買ってくれる人、おこずかいをくれる人ではなく。
- スーパーやバスでおばあさんに声をかけてもらえたりとチョイチョイお年寄りとの交流はあっても、結局その場限りなので、大塚フレッシュママみたいな感じで、地域のおばあちゃん達も集まってふれあいができれば理想的！同じママ同士の集まりも大切だが、色んなタイプの赤ちゃんを見てきた視野の広いお年寄りのアドバイスはとても役に立つと思うので。
- イベントや行事の際に、近所の方との共同作業をしたり、専門的な方との交流もあると、子どもも色々な体験ができてよいと思う。

(11) 子連れで行ける場の充実(4件)

- 親が食事をしている時、子どもが遊ぶ場所（江戸川区西葛西にあるSKIPKIDS）のような所が文京区にもあれば、息抜きできる。
- 子どもを遊ばせながら、親はランチやお茶を楽しめる場があれば、とても嬉しい。
- 子ども連れで行けるレストランがほしい（禁煙で）。
- 子育て用品のリサイクルショップの大きな店があればいい。

(12) 路上禁煙対策の充実(3件)

- まず、東京でよく見かける「歩きながらのタバコ」を廃止すべきだと思う。
- 文京区の禁煙も(区全体)お願い出来たら嬉しいなと思う。
- 歩きタバコを禁止する。

(13) 子育て支援情報の提供(3件)

- 母子手帳をもらう時、妊娠中、産後に使えるサービスについて教えてほしい。
- 妊娠中、出産後に子どもの通える幼稚園や保育園(公立や私立なども含めて)を相談できたり、提案していただいたり、個別に相談してもらえる窓口があると、とても助かると思う。子育てのビジョンを自分なりに家計的にも組み立てたいと思っていたが、上手に情報を得る事ができずにいる。
- どこにどんな病院があるとかのマップがあるといい。

(14) 防犯対策の充実(2件)

- 子育てしやすい町というのは、環境設備、公的補助などいろいろあるが、最終的に子どもや家族が安心して暮らせる、犯罪のない町という事だと思う。幸いな事に今までそういう危険な目にあった事はないが、色々な話を聞くので、心配になる事がある。
- 防犯ベルを持ち歩かなくてもいいよう、地域の目が届く社会になるといい。

(15) その他

- 公的補助も大切だが、主人の帰りが早い方が精神的に楽。育児休暇を取得するのは、まだまだ少数だが、取得しない人が出せないなど、考えが変わらなければ少子化は止まらないと思う。
- 小学校の学区をなくしてほしい。
- 幼稚園・保育園に通う年代も義務教育にして欲しい。
- 最近の小学校の統廃合等の話を聞くが、子どもは色々な面で影響を受けやすく、大規模な体制で教育を行うより、地域と密着した小規模なものを公的な学校には求める。単純な経済性による統廃合には、反対である。公的機関の意味がない。削減するのは、他に先行するものがあると思う。